

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-83)、MOX燃料加工施設(1-79))」

2. 日時：令和3年10月27日(水) 13時30分～17時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理副事業部長 他18名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

北陸電力株式会社 原子力部原子燃料技術チーム 副課長

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループ 担当

四国電力株式会社 原子力部 燃料技術グループ 担当

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

原子力土木建築部長

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

提出資料

「設工認申請に係る対応状況」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年10月22日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁会議室シミズですとそれでは進行の方タケダさんですからお願いします。
0:00:08	ありがとうございます。成長のタケダです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:16	本日のヒアリングは例は2年12月に申請があった設工認申請につきまして、10月文書2日及び本日提出があった資料をもとにイギリス確認を行うものになります。
0:00:31	まず、規制庁側からの出席者ですけど、本庁側がハバサキカミデ
0:00:38	WEBからの参加ば
0:00:41	コサクツガネ
0:00:44	キシノ
0:00:45	モリノ掛けな以上になります。
0:00:50	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と議題の構成を御説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:59	はい。日本原燃の渕野です。本日の日本原燃側の出席者ですが、事務局側で再処理からムラノナガサワ、タカハシフジノMOXのほうからタカマツ、タニグチイトウ
0:01:14	本日説明する資料の説明者ですが、フナコシサトウのミヤモトガシ、イナズマみたいに炉オガセスギタ、ヤマグチ、ハラダツルタ
0:01:30	九州電力さんから明石様、それから大成建設の方から石黒様とタカハシさんも本日参加いただいております。
0:01:38	本日説明する資料ですが、まず設工認申請に係る対応状況ということで、その飛来物防護ネットに関する資料ですね、こちら説明するのと、あと地震応答解析における地盤モデルの物性値の設定ですね、こちらの2件の説明を予定しております。
0:01:56	よろしければですね、節項2番kの資料の御説明から入りたいと思います。
0:02:03	はい、規制庁の武田です。
0:02:05	それでは今説明があったし、本申請における事業者も勧めということで強化の資料のほうから説明をお願いいたします。
0:02:18	はい、見込めないイナズマです。
0:02:20	を設工認における状況ということで、
0:02:24	ポイントの資料を準備してございます。内容についてお諮りいただいております、と思いますので、私のほうからは1点のみ補足的な事項をお話しさせていただきたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	2次以降にですね、あと液化化時の検討フロー利益LOCAでの検討フローを記載してございます。総作業用いれモデル名につきまして、現在合理的な二次元フレームモデルと記載してございますけれども、こちらの名称につきましてはまだ
0:02:52	あるようなございまして、今後ですね、その検討にあたって、適切な前に別途必要が4時ですね、修正して一杯というふうにご考えてございます。内容につきましては、こちらに記載の通りでございますので、確認事項等ありましたら、御質問コメントいただければと思います。説明は以上でございます。
0:03:14	規制庁タケダです。ありがとうございます。
0:03:18	それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項等ありましたらお願いいたします。
0:03:26	規制庁カミデです。まずちょっと確認したいのが、本件、先週ですね、10月20日のヒアリングにおいて、予定していた資料提示こう遅れますと、
0:03:42	いうことで検討状況をその日の午後にですね。うかがわ言いました。
0:03:48	その結果、その結果を反映してと思うんですが、先週金曜日に、一度資料を御提出され、決算また出てきたということなんですけど。
0:04:00	特に先週段階で水曜日から金曜日の資料提出まで
0:04:07	どういうプロセスで資料を作ってつくった方針を固めてきたのかっていうプロセスですね。
0:04:16	電力支援所からの助言であったり、
0:04:21	ゼネコンとの協議だったり、あったと思うんですけど、そのあたりどういうプロセスを経て、日本原燃として意思決定をしたのかということについて説明いただけますか。
0:04:43	日本原燃佐藤でございます。
0:04:49	がた20日のヒアリングの際には、前モデル構築の途中にあったってこともありまして、
0:04:58	モデル構築に際して、電力さんやゼネコンさんと
0:05:06	何%かの
0:05:08	モデルか2に関する検討の方をしておりました。その中で、目的とする波及的影響評価を行う上で、
0:05:21	合理的なホテル設定が可能かどうかというところに着目してゲンタツてれば、今回お示しております。
0:05:35	詳細な二次元のFEMのに比べると、若干簡便な日現在日モデルを英語的なモデルというふうにご設定してこちらの
0:05:50	妥当性で保守性のほうを今後詳細に検討していく。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:55	というところまで地形状況でございます。
0:06:01	以上です。
0:06:06	規制庁カミデです。大まかな流れだけ説明いただいたような感じがしてですね、もう少し技術的なところをきちんと詰めたのかというような話を伺いたいですけど。
0:06:23	例えば3ページ目のモデルルーム
0:06:27	であったりですね今回モデルをどうするか、あとはモデル化範囲であったりモデル化の中にも御杭をモデル化するか否かとか、上部構造とするかという話があると、技術的な課題があると思ってですね。
0:06:43	そのあたりどういうアドバイスを受けて原燃としてどうしたのか。
0:06:49	もうまたは確定したものです、資料として提出する際に、きちんとその紹介をして、Fa出しているのか、だったりとか、また各
0:07:05	資料の確認に対して十分な時間があつたのかとかですね、そういった辺りをももう少しあつて説明いただきたいんですけど、よろしいですか。
0:07:22	現年サトウでございます。そういう意味ではモデル構築において何点か確認していかなければいけないという課題というかチェック事項みたいなところは、5ページが4、4ページの方。
0:07:39	2のほうも整理しております。
0:07:43	資格、1一つ目に合理的な事件モデルの構築プロセスであるんですがこの中で、
0:07:53	今回周辺をすべて埋戻度としたその合理的なモデルを作ってますがそれが本当に
0:08:03	御指摘が増加する精製まそういう多分規制庁カミデですやることの中身ではなくて、どのような話、あのやりとりを方協議して作成されているのかってのはそのあたりのプロセスお伺いしているのでちょっとな中身というよりは、
0:08:23	どういうプロセスをたどったのかというところを説明いただきたいんですけどよろしいですか。
0:08:46	におけるサトウでしよお持ちください。
0:08:51	規制庁コサクです。
0:08:54	フジノさん、今日、
0:08:57	取りまとめの部署の人って、フジノさんの上どうなったんでしょうか。
0:09:04	自分の目だとナガサワオムロンの
0:09:08	それからその方針といいますけども、
0:09:11	今日出ている方。
0:09:13	町民みんな出ておりますがでてナガサワ損していこうと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:22	豚金曜日に面談の話をされてますけど。
0:09:27	今みたいなやりとりいいの。
0:09:30	総合倉庫っていうかすれ違っていくのはないようにしてもらわないと困るんですけど。
0:09:36	金曜日話しをする。
0:09:39	対応っていうのが耐震では今どうなっていて、
0:09:44	現状をどうなるんですかね。
0:09:48	日本原燃長沢でございます。また社内検討中でございますが、地区なくてもですね、規制庁側のコメントのイトウ、こういったものをしっかりと社内展開をして理解を深め、
0:10:02	その上で資料を作っていくというようなプロセスとそれからそれをですね、社内ですっきりとチェックをしていくと、これはこないだ申し上げたReviewの体制の再構築みたいなものも考えてございまして、
0:10:20	その辺がこれからの対策の内容ということで今検討しているところでございます。以上です。
0:10:29	はい、コサクです。
0:10:32	そのレビューしたりとかっていうのはやってもらうにですね、その入口としてやっぱりコメントの趣旨っていうのをちゃんとキャッチアップをして対応するっていうところが大事で、今のやりとりはそれができてないということ。
0:10:49	なんですね、本件は、この前のヒアリングなりその後の面談でもお話をしている、
0:10:58	ちゃんと原燃としてフェーズフェーズ判断をしていくと。
0:11:06	いうことが大事だということになっていて、その説明を求めているのに、答えられないっていうのはもう根本的に、
0:11:15	体制としておかしいですよ。
0:11:22	原電の佐藤でございます。ご指摘の通りかと思っております。我々としてもですねこれまでヒアリング或いは審査会合の結果を社内の情報共有会議かけて情報共有を図りながらですねみんなで
0:11:39	認識が間違っていないかということを明確し合いながら、特にコメント二通り最初っから方向性みたいなところを議論して進めてきたつもりではあるんですけども、特に平野ほかの案件でも確認されてますけれども、
0:11:56	時間の関係です。少しレビューが不足して提出されたりですね、そういった案件も確認されております。そういったことがないようにですねこれからしっかりと管理していくということかと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:11	これからもう少し深堀をさせていただいて、有効な対策を提案できるように、再検討したいと思いますけれど。
0:12:21	はい、古作です。進め方としてはそれをお願いします。
0:12:25	それで話を戻すと、本件についてのプロセス、少し時間くださいと先ほど言われてましたけど、回答できるようになりました。
0:12:45	日本原燃佐藤です。すいません。プロセスですが、すいません
0:12:53	ちょっとまた認識が出たら申し訳ないんですが、まずこのAO評価にあった。
0:13:00	評価に使うこのモデルを構築する上で、
0:13:05	まず、どんなチェック項目があるのか、必要な性能をというふうに行かなくちゃいけないのかっていったところをまずは議論してそれについてまとめては4ページに、
0:13:23	います。こちらの項目を
0:13:26	に対して、
0:13:30	そういった確認方法をとればいいのか、また
0:13:36	はい。
0:13:37	さらにもう少し深掘りする必要があるところは何かっていったところの議論してきたところでございますそれを整理したのは、4ページになっております。
0:13:48	コサクです。
0:13:51	先ほど上出が言っているのは今日の4ページの内容が出てきたということを知っているのではなくてですね、前回のヒアリングから
0:14:03	前回実績水曜日でしたっけ。
0:14:09	金曜日に提出すると。
0:14:12	一定にあせすいません。前へ提出するといつて少し遅れて金曜日提出になり、かつ今回、資料の修正をすることになっていて、次目途面談をしたときの作業状況と、
0:14:31	いう。
0:14:33	どうもお聞きしたところだとまだ内容としては確定していないようなところがあり、そこでやっていたこと等を提示された資料っていうところに多少のずれを感じると。
0:14:47	というようなところをどのタイミングでどう原燃は判断をしていたか。
0:14:53	そのときに、明石さんなりエネ電力支援者という人たちにどういうふうに支援条件をもらったのか、それに対して対応を判断をした
0:15:06	その過程において、体制とはどういうやりとりをした
0:15:12	そのあたりのプロセスを一つ一つ
0:15:15	1日ごとに状況とかがっていうのはなしでもらえますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:26	日本原燃、佐藤です。はい。まず
0:15:31	10月20日時点で頭の中にあったモデルとしては、地中部の構造物をですねいわゆる串団子と呼ばれる質点系のモデルにして構築するパターンと、
0:15:47	他と所二次元のFEMですが非常に要素数の少ない簡便な土中モデル。
0:15:55	そういうような形で評価できないかといったところからスタートしておりました。
0:16:01	引き県警の目的につきましては、地中部の
0:16:10	曲げの評価、こちらにつけていろいろとバネの作り方をですね大成建設さんを含め、過去の事例から設定方法として妥当なものがあるのかといったところをいろいろと議論しました。
0:16:27	この際、研究レベルでは
0:16:32	それなりの層、Ac地中部を質点系にして液状化時のあの場の評価みたいなものがあつたんですが、そちらの妥当性を
0:16:46	短い時間で評価していくには非常に厳しいということもあって、つつ中部質点系の簡便なモデルについては、一旦ホールドするという形にして、一方Vmの非常に簡単な土中モデル。
0:17:02	3列ぐらいの土中を使って液状化時の評価ができないかという検討を
0:17:12	同ウノ英語で進めておりましたので、
0:17:15	その際ですね、やはり、FEMですと解析に必要な領域Aだと透過させなくてはいけない。
0:17:24	振動周波数第そういったものの制約を踏まえてですね、モデルのほうを考えていたところ、3列のその道中モデルでは、企業価値の状態を適切にはハークスレイが非常に難しいだろうということで、
0:17:41	文化、
0:17:46	そうずっとお示してました詳細な二次元モデルに比べては、簡単には
0:17:52	しているんですが、それなりの要素数を持った、今回お示してます好意的な二次元FEMモデルのの方をまずは考えております。
0:18:05	で、
0:18:06	この合理的な
0:18:09	モデル。
0:18:11	先週末、
0:18:15	こちらでいきたいというふうに考えてですね、お礼して、実は先にすいません規制庁カミデです途中で切つてすいません。ちょっと一つ一つ考えた内容を細かく言ってもらうのではなくて、
0:18:32	求めている説明はですね、さっき日1日ごとにと言いましたけど、要は20日の時点でどうだったのかっていうと、午前中の段階では遅れますという話で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:47	午後に面談した段階ではに上がったと、大きくに上がって簡易なFEMであるのか、支店系のモデルでやるのかあったと。
0:18:59	それが何時間以内FEMに一本化になったのかっていうそれどういう検討でなったのか、そのときも、要は簡易のFEMの中でもモデル化っていうのをいろいろ考えられて複数あったんだけど、それを金曜日に提示してのモデルに、
0:19:18	一本化しようと言ったのはいつなのか、それはどういったどういった方とどういった内容の議論をどういった形で議論してそういうふうなモデルに確定したのかって嘘そういうあらましをですね、簡単に説明いただきたいんですけど。
0:19:37	よろしいですかね。
0:19:41	日本原燃佐藤です。まずをし、
0:19:45	ダンパなし設計のモデル、こちらにつきましては先ほどもちょっと御説明しますが、地中部のばねの比の設定方法が非常に困難だということ、それは 21 日、
0:20:01	です。
0:20:02	二十二、三日で少し厳しいなというのがわかってきました。どうぞ。
0:20:08	そのあとですね、簡便な二次元、これを名にすべて評価しようということはコサクです。はい。申し訳ないけど今のちょっと濁したところがよくなって、二十二、三日って言われた資料を提示した後になっていてですね。
0:20:25	そこでまでバネの話したということですか。
0:20:48	失礼しました。ちょっと日付間違えておりました。
0:20:51	松川の浜堤取引にいろいろと
0:20:57	議論して一般弁のモデルの 2 パターンの方は御説明したかと思えます。そのあとすぐにですね、
0:21:09	成立性次で確認して 21 日にやはり
0:21:17	SRも簡便な試験項目ではちょっと難しいというところがわかって
0:21:26	こう指摘としていた二次元のFEMのモデルについて、成立条件を踏まえてちょっとモデル化を詳細にやった。
0:21:36	ところ、介護提示している。
0:21:42	飯はちょっとないんですが、こういった二次元のモデルであれば、
0:21:46	目標とする。
0:21:50	配置オオオカの評価が可能であろうということを含めて、資料のほうにまとめて御提出しております。
0:21:59	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:03	規制庁上出です。21日に簡便なFEMに行こうとしてから資料出てくるまで非常にすんなり説明されたんですけど、20日の面談の中でもですねその簡便なFEMっていうのは容量あるだろうという。
0:22:21	先ほど3列って言ってましたけども2列かもしれないし、もっとかもしれない。モデル化範囲についても、何をモデル化するのかその上部構造がいるのかどうか後は悔いも入れたほうがいいのかっていうのは技術的なところとして課題があると思うんです善し悪しがあると思うんです。
0:22:41	その辺の決定をいつですね。誰とやって金曜日の日にはそれを資料として確定させてるわけですから、
0:22:52	どういうプロセスをどういうプロセスをたどったのかっていうところをもう少しそこを丁寧に教えていただきたいんですけど、いかがでしょうか。
0:23:05	日本原燃佐藤ですね、二次元のFEMの関係等粗いメッシュのタイプD、E決めてそこはおっしゃる通り杭をモデル化するのかとか、上部構造をモデル化するのかといった議論がありました。
0:23:22	今回一つのモデル化の
0:23:30	我々の目標としてはなるべく簡便なモデルで多数の解析ケースを解きたいというところがありますんで、国ですとか上部構造についてはに關する評価を加えることで取外したモデル化ができるだろうということ
0:23:48	22日の夜から21日かけて検討しておりました。
0:23:59	それとあわせてそのあと先ほどちょっと言いませんが、名刺もサイズによっては投下する波の海成や制約が出ますので。そういった上で、制約上の制約上最低限のメッシュ。
0:24:16	その大きさとは何かといったところ、
0:24:21	内生産9.7。
0:24:25	資産後担当で残もそちらの方入ってもらって議論を21日の2台分、すすめて並行しての資料のほうをまとめて、20日の方に提出していたしました。そういった経緯でございます。
0:24:42	以上です。
0:24:46	はい、規制庁カミデです。そういった検討の中で、基本的に、
0:24:52	今聞く限りだと検討の中に常に電力支援者であったりゼネコンの方が入って話をしてたんだろうなと推察しますけど。
0:25:04	あとはアウトプットをですね資料としてやる。まとめたときに、議論した内容がきちんと反映されているかどうかといったレビューみたいなものもきちんと実施されているってということでよろしいんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:25	日本原燃佐藤です。はい。資料は日本原燃の方で皆さんのご意見とかを聞きながら、作りまして、あるという形になった段階で何とかレビューをしていただいて、
0:25:41	／22 時の提出資料もしくは後日提出資料のほうになっております。
0:25:51	以上です。
0:25:54	規制庁コサクです。私は木曜日を参加してないんですけど、そんな時話を聞いた。
0:26:03	伝聞で聞いたところだと。
0:26:06	先ほど言われたような杭だとか上部構造についてを検討中の状態と。
0:26:13	いうことだったと思っているんですけどその認識はそれでいいですか。
0:26:20	日本原燃佐藤です。その通りでございます。21 日もちょっと遅くまで議論させていただいて 20 日も
0:26:28	午前中がいろいろとお話をして並行してヒアリング資料等の方がまとめもやっております。かなりなども改定が入ってお出した資料の形になってます。
0:26:45	はい、規制庁コサクです。事実関係としてそういう流れであったということを凍ります。
0:26:53	ちょっと各社さんにお伺いしたいんですけど、9 点とのやりとりっていうのはどんな形でやられて今回やられたんでしょうか。
0:27:05	はい、九州電力の赤司でございます。基本的にやりとりはオンラインの方、まさにこのようなFXの形でやりとりをしまして、これ原燃が研さんが起点だったか私が起点だったかはちょっと
0:27:24	場面場面でそれぞれなんですけれども例えば減産が考え方をまとめて粗な資料をまとめた後で議論をしましょうよこいだけがあってそこに参画して頭でコードがあるというふうに議論をした場面もあれば、
0:27:42	具体ということでそれは具体、どちらかというと 22 日。
0:27:47	金曜日の議論ですね、これ先立って 21 日木曜日の夜遅くの原電さんとの議論はもちろん私の方から声かけをさせていただいて、やっぱり規制庁さんと面談でもいろいろ議論はそのポイントをどう考えてモデルを固めるかそこをもうちょっと調整をとりましょうということでご意見
0:28:07	させていただいて、オンラインの形でまさに今ああやるやらせていただいているような資料であったり、多い書きしたものが目に共有しながらああでもないこうでもないという議論をしてそのほか中身について統合仮定され詰めなきやいけないところとかがあっていうのを、
0:28:25	より良い深掘りした観点で大成建設さんに意見を求めながら進めていったという流れでございます。以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	補足です。わかりました。ありがとうございます。今の最後に言われたところの話でいうと、
0:28:41	大成建設の方も 21 日夜だったり、20 日だったりという、内の打ち合わせでは一通り参加をされていて、その内容に応じて作業され、現に情報提示をしているっていうことでよろしいですかね。
0:29:02	大成建設、高橋です。おっしゃる通り、21 日。
0:29:08	昨日の夜をとか九州電力赤司さんと一緒に原燃さんの方とメール会議で対応をいたしておりました。以上です。
0:29:22	はい、規制庁不足でござりました。そうすると 22 日に提出された資料っていうのは、現在から提示があった資料っていうのは、その 21 日 20 日のそういう打ち合わせを踏まえて、その内容を集約したものということで、
0:29:38	ですね。
0:29:42	回答数じゃ、またサトウさんにその通りでございます。
0:29:49	規制庁コサクです。やっぱりましたってちょっとカミデに戻したほうがいいのかもしれないですけど、その上で、金曜日の資料から今回の資料で、内容として変わったところっていうのはある認識ですかそれとも
0:30:05	金曜日で十分かけてなかったものをわかりやすくするようにしたっていうことですか。
0:30:12	日本原燃佐藤です。金曜日の時点ではモデル構築上のそのプロセスだったり妥当性といったところが、少し希薄だったということもあって、
0:30:29	本日、それを 4 ページの資料のほうに、
0:30:34	モデル校逐条の妥当性を確認するためには何をしなくちゃいけない。
0:30:41	というようなことを明示してます。
0:30:45	それとあと液状化を
0:30:50	非液状化と議場かと二極化の状態があるんですが、
0:30:55	中間班員液状化みたいな検討も必要ではないかということに着目した評価も加えさせていただいてますが 4 ページ目の二つ目の四角になります。
0:31:12	そういったところを今回の資料ではお出しにさせていただいております。以上です。
0:31:22	規制庁コサクです。その点では液状化非液状化の中間状態とかも含めてというのは、金曜日こう整理をされていて、
0:31:35	だっということですか。
0:31:39	日本減じサトウですはい。そのあとですね、ちょっと議論した際に、こういう検討も必要ではないかということで、付け加えさせていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:54	はい、規制庁憶測です大枠の流れをわかりますので、またカミデの方からよろしくをお願いします。
0:32:03	保育込みですね、大体今、今日の資料までの位置付けまで起こっ国んできたので、
0:32:11	名込みのほうを見ていこうかなと思いつつ、
0:32:19	ちょっと言った言わないの話なのかもしれないですけど、中間の計数方法はワークしておく必要がありそうだったという課題は、
0:32:28	先週の水曜なりも目標もたと思いますけど、話には終わってたんじゃないかなと思いますけど、そういう認識はありませんか。
0:32:42	日本原燃佐藤です。すいませんちょっと私の方はそういう認識はなかったんですがもしかしたら大成建設さんが何か。
0:32:52	ようで、それで、
0:32:54	課題として挙げてきた。
0:32:57	檀
0:32:58	のかもしれない。ちょっと確認を出してください。大成建設さんと九州電力の赤司でございます。今関連お尋ねあったところはまず、トリガとしては、先週の段階で途中の段階も確認する必要があるんじゃないかという話題が出たらそれは、
0:33:16	その通りでございますんで、金曜日に資料をまとめるまでその過程において、特に私証の方はよその中間的なところを確認すべきじゃないかという認識をはっきり持ってたものの、そこをちょっと検査も含めて会話をする中でどう認識にそこか。
0:33:35	なので、やはりモデルの妥当性確認の上ではそこが大事じゃないかっていうことを新たにすいませんちょっと正確にある企業の有効だったか、今日昨日だったかすいません正確なところもありますけど、私どもから改めて問いかけて、
0:33:52	やっぱりモデルの妥当性確認プロセスとしてそこはいいんじゃないかということをもう一度認識の統一を図って、改めて4ページのほうに盛り込むような形をとったというものでございます。以上でございます。
0:34:09	はい、規制庁込みです。わかりました。
0:34:12	多くの流れであったりは先ほど聞いた通りで、
0:34:17	若干気にしているのは、きちんと検討した資料を出してくださいっていうのを／この資料だけではなくて全般でお話ししているときに、やはり生息な対応が少しあったんじゃないかと推察できるような今お話だったかと思う。
0:34:37	で、その辺日本原燃においては、やはり
0:34:42	この日に出しますといったところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	ちょっと硬直的にやるがために検討が浅いまま議論が再ままっていうことがないようにですね、今後気をつけていただければと思います。よろしいでしょうか。
0:34:57	日本原燃佐藤です。ご指摘の件、承知いたしました。今後しっかり対応して参りたいと圧損上です。
0:35:09	規制庁カミデです。ほか、
0:35:12	ちょっと全般の話がなければ、ちょっと資料の1ページ目ころ中身を国にしていきたいと思います。
0:35:22	1ページ目は、今日冒頭でお話したように、こちらのコメントなり話をしたことをきちんと事業者が受け取っで事業者で考えて示してもらっていうところが大事。
0:35:41	そのキャッチアップをちゃんとしてくださいねっていう話をこれ繋がるんですけど、今1ページに書いてあるような予定を我々審査会合とかで話をしたものを昔でただ書いてあるだけなんです。
0:35:56	なぜこういうことを会合で言われちゃうのかっていうところをちゃんと考えてですね、今まで悪かった今までにはこういう悪さがあったところをですね、改めてこういう
0:36:11	新しい考え方なり、こういうふうに進めますっていう形でちゃんと咀嚼して、一般的な考え方であったり、基本方針というものをちゃんと語ってみずからの言葉でちゃんと語ってもらいたいと思いますので、
0:36:28	その辺はご検討いただきたいんですけど、よろしいですか。
0:36:35	日本区分サトウでございます。
0:36:38	1ページ目、確かにやるべきことだけを書いて事業者として何をもとにしてこういったことをすればなるのかって言ったら、説明がちょっと抜けているところがございます。今後につきましてはそういった
0:36:54	所もをちゃんと踏まえた上で
0:36:59	4報の方針を示すようにいたします。以上です。うん。
0:37:10	規制庁カミデです。
0:37:13	国家Iページ目、特になければ、じゃあお願いします。
0:37:19	規制庁ハバサキです。1ページ目、今の趣旨ですね。
0:37:24	当事業者の考えを盛り込んでというときに、例えば基本方針の二つ目のポチなんですけども、液位評価非液状化ともに基準地震動全13%をお伝えして行うと書いてあるんですけども、これ中見てくと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:41	生きるかに関しては代表を選定するっていう話があると思います要は基本係数の話とばらつきを含んだお話だとか、そういう意味ではばらつきでは選定する代表を選定することになると思いますので、
0:38:00	要は表現としてですね性格文章ですね細かい説明はなかなか見ればいいんですけども、あっ等、
0:38:10	抑えるべきところはやはりきちんと説明を例えば基本ケースだけについて次13杯あるならば、やはり基本検査についてはとかですね、そういうものを入れてもらいたいというような表現で正確な表現をしてもらいたいというのが趣旨です。
0:38:27	で、同じことが次のその非液状化だんするときには全応力解析を行ったという話が書いてあるんですが、これもこれ後にも出てくるんですけども、全応力解析決定も逐次非線形の話と、その等価線形な話があるんで。
0:38:42	ここではどうかというか、どう考えるのかということでそれも細かい話は、中で説明すればいいんですけども、きちんとその冒頭の基本方針でも言うべきことは表現してもらいたいというふうに思います。
0:38:57	対応は可能でしょうか。
0:39:01	日本原燃佐藤です。ご指摘の点踏まえて、今後競合更新の中にちょっと誤解を招かないような記載等、あと読み取れない内容がないように、ちょっと規制のほうは充実していきたいと思います。以上です。
0:39:23	規制庁川崎です。私からは以上です。
0:39:26	規制庁コサクです。今の同じなんですけど、次のページに行くと、先ほどからお話は、ある合理的な二次元FEMモデルというのが出てくるんですけど、いきなり出てくるんですね。
0:39:43	何でこれを採用したいのかっていう考え方っていうのはあるよねっていうのを会合でも話は、管理官からあったと思いますし、その後のヒアリングでもあったと思うんですけど、ここで触れられてないのは何ですか。
0:40:05	日本原燃佐藤です。そっち
0:40:12	確かに唐突に合理的二次元モデルというふうに出てきておりますので、おっしゃる通り、前段にまずは何をもってこのモデルを作ろうとするのかっていったところ、
0:40:29	金曜日の資料にはちょっと理解したんですが、直径ダムが抑えにバタバタと防護してしまった。
0:40:39	ところがございます。
0:40:46	御指摘の通り
0:40:48	これから

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:52	さらに詳しいちょっと結果を含めた資料のほうはお出しする際には、サトウ掴むようなそういう表現できたところもしっかり見て、修正のほうがしていきたいと思います。以上です。
0:41:07	九州電力の赤司でございます。横から割って入って申し訳ございません。今ちょっとサトウの方がなんかちょっとオオオカにも挟まったような言い方をしておりましたが、そもそもこの1ページ目が非常に簡潔な象限に9となってしまった、これ実はちょっと、すみません、私の趣旨わざわざああであるところ。
0:41:27	ございます。ここはあくまで基本的な考え方基本方針なので、もうちょっと細かいところを過ぎようとして本当に本当にこれだけを書くべきではないかということがちょっと私申し上げまして、現在さんのほうにコンビニでかなり簡潔な形に 修理機種
0:41:43	に修正をしていただいたんでただ私が乗っかっておりましたのがコサクさん御説明ご指摘あった通りでも2ページ目で、例えば合理的なモデルとかいうのが突然ていきますので、その設計C4 跨いだ整合性Aのようなところ、私も官邸が抜けておりましたので、
0:42:02	結果的にちょっと私の指摘に従って減産修正した結果困難になっちゃったという次第でございます。申し訳ございません。
0:42:09	事体として維持でございます。
0:42:11	はい。規制庁クラブです経緯はわかりました。
0:42:15	そうですね。明石さん言われるように、これまでの原燃の資料ってやたらめったら文章が長くてポイントがわからないというので簡潔にわかるようにして欲しいという話もありましたので、
0:42:30	その点今回資料2ページあって1ページ目を見たときにはそういうことかなというの思ったんですけど、今言っていたように、そう。
0:42:42	簡潔にしたのであれば、次の詳細のところその旨側からその後の状況とかがわかるようにとかですね、いろいろ整理をして考え方がしっかりと上流から展開をされているということがわかるようにしていただきたいと。
0:42:59	いうところですよ。
0:43:01	それは
0:43:05	下の四角の四つのポツ、それぞれにあって、直下の話もさんざんあの会合でもやります。
0:43:13	だけど、その経緯なり考え方、施設の特徴というようなことは、施設というか敷地の特徴ですかねっていうのがあってということですし、13/についても、そもそもいきなり13%なわけではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:31	液状化非液状化というか、この場所というか、の耐震を評価するにあたり、どう いう位置付けでやるべきなのかという考えがあった上で、
0:43:44	どちらでやるというのが確定をするようなところではないので、その評価にあた っては、正式に対し評価をするものということなので全中散歩やろうと。
0:43:57	いう考えであると。
0:43:59	いうふうに私は思っていますので、そういった流れがわかるように、上流を抑え るという表現をしていくということが大事だろうというふうに思っていますので、
0:44:13	観点から時ちよっと前に話をした非液状化液状化の間の部分も含めて何が本 当に
0:44:21	気にしなきゃいけない状態なのかということ把握をしていくってということも出て くると思うんですね。
0:44:28	なのでこの段階でもその話が出てもいいんじゃないのかなっていう気もします ので、その点も含めて整理を進めていただければと思いますんで結果としてち よっと話を進めてしまうと、次のページ、液状化非液状化になってるんですけど 間はっていう感じもらっちゃっているので、
0:44:45	争点この後その話も聞いた上で、資料としての構成ってというのはまた考えてい ただければと思います。以上です。
0:44:57	日本原燃佐藤です。はい、直下の位置付け 13/日付で伴駅しようがない。フ ローの中での位置付けも明確にして
0:45:07	お示しするようにいたします。以上です。
0:45:15	規制庁カミデです。
0:45:18	あと 1.2 ページ目に話に移ってきたので、2 ページ目の確認を行いますけど、
0:45:25	モデル検討中とか今後実施とかってというのはあるんですけどちょっと資料の時 点を教えてもらいたくてこれは、
0:45:33	今日時点ってということですか。
0:45:36	これらのポンプなので、将来的に来月の会合資料にしようと思うんですけど、そ の時点ではこの記載がどうなる見込みなのかということを含めて説明いただけ ますか。
0:45:53	日本原燃外での
0:45:57	オーデリックは今検討中というか作成、ほぼ完了というのが現時点ですので、 それをういてこれから 13/なりあったと/保守性の評価といったところを進め て、
0:46:17	今回お示ししてます合理的な二次元封印モデルの解析自体は
0:46:25	来月早々には完了できるというふうに考えてはおります。
0:46:34	ただし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:37	あと、ちょっと二次元の詳細なFEMモデルを作るとの比較といった検討もご いますんでそこに長ちょっと時間がかかるかなというような状態でございます。 以上です。
0:46:52	規制庁カミデです。ちょっと質問がなかったので分けて聞きます。
0:46:59	今後であったりモデル検討中というのは、これ今日現在とっていいですかそ れとも違いますか。
0:47:11	当期検討中で結構です。はい。
0:47:15	ある意味でサトウです。
0:47:18	ここにもおっしゃって来月中防にもと審査会を予定してますけど、そのときの資 料でこういうものを出す場合、この記載はどうなる予定ですか。今の見込みを
0:47:33	日本原燃、佐藤です。
0:47:36	モデル化の妥当性を確認済みというふうに
0:47:43	なると思います。
0:47:45	以上です。
0:47:49	規制庁、カミデせえっとモデル検討中が
0:47:54	もう物価の妥当性を確認済みになるっていう、今おっしゃったんですか。
0:48:01	日本原燃佐藤です。はい。
0:48:05	そのようになっているというふうに今想定しております。はい、えっと非液状化 時、
0:48:12	液状化実際は両方とも。
0:48:15	。
0:48:17	日本原燃佐藤です。液状化順を費 1 億 8 もモデルは全く一緒ですので、は い、そういうことです。
0:48:28	規制庁カミデです。全 13ノに対して以降の今後実施となっているのはどうなる 予定ですか。
0:48:45	日本原燃須藤です。統合は、
0:48:50	審査会合時点ですと、
0:48:53	実施線形モデルによる応答計算までは完了済みになった。
0:49:00	というふうに想定しておりますんです。その下の三次元のフレームモデルによ る部材評価、
0:49:07	以降については 1 分を代表変わっての確認。
0:49:14	困るかもしれない。
0:49:18	というようなどころの進捗状況でございます。
0:49:25	あと規制庁カミデです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	もうてるのみの最初に聞いとんモデルの妥当性確認済みってなってるんですか。
0:49:37	妥当性の確認。
0:49:39	今しようとしているのがこれ4ページに書かれてる内容があつて、
0:49:47	これもう、もう終わりました。
0:49:51	この検証全部終わりましたよっていう状態が11月中の会合でも説明されるっていうそういうことを想定されているんですか。
0:50:04	日鷄連サトウです。
0:50:06	それと4ページ目の市架空量の一つ目二つ目についてはこちらは終了をさせる予定でございますので、三つ目の四角の
0:50:21	以上です。
0:50:25	こちらが詳細モデルとの比較になりますので、それについては一部の代表はしたという状態で中桐お示しできるように、インプルーブしていきたいというふうに思っております。以上です。
0:50:50	規制庁カミデですとハの4ページの内容もまだまだ何か固まっていないような
0:50:58	特に四角の二つ目みたいのところ、その中間をどう定義するのかみたいところが、
0:51:06	なお、まだきちんと説明されてなくて、そちらとしても固まってないんじゃないことを思っていましたけど、
0:51:14	そちらの認識としては終わるということで、改めて確認しますが、それでよろしいですね。
0:51:26	もっと天然サトウです。
0:51:30	二つ目の四角業の班員液状化の評価につきましては、
0:51:36	出た液状化抵抗曲線に保守的に設定してますので、それを基準おかしくしていくページ一般の物性値を与えてその解析のほうを今後進めていく予定でございます。これについても、
0:51:59	設定等大分固まって進める、準備ができていうところでございます。以上です。
0:52:09	はい、規制庁込みですね、わかりましたと。解析はこれから進めるということですね、
0:52:17	解析のためのインプットの整理という条件であるか、解析条件の整理までは終わってると、今、説明を加えましたけどその認識でいいんですよね。
0:52:31	2億円サトウです。はい。オフィオな状態というふうにそのような状態になっております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:41	規制庁込みでちょっとJAS以降もしれないですけど大成建設さんとかその辺り、もう整理済みなのかどうか事実関係を教えていただけますか。
0:52:57	大成建設の高橋です。今原燃さんとさんおっしゃったところがすべてではなくてですね、一部まだ保留事項もございますが、ほぼほぼ概ね、我々の頭の中ではこういうふうな方針でやっていこうっていうイメージはついておりますので、
0:53:17	を完全にサトウさんがおっしゃったことが
0:53:22	何てもらってとゆいわけではございません。以上です。
0:53:28	規制庁こ水わかりました。ありがとうございます。
0:53:35	そうですね 2 ページ目について、そういう状況になるということで
0:53:43	会合でそういう状態で説明されるっていうことは当然そのバックデータを検証した結果っていうのも説明をいただきたいと思っております。
0:53:55	この資料にもですね、原町として各検討に対してどういう結果だったのかっていうのは介護資料でもう載せていただきたいんですけど、一方でかなり膨大な量になりますので、
0:54:14	全体のデータについては、補足説明資料で出していただいて確認させてもらおうと、いうプロセスになると思いますけど、その辺り
0:54:25	あれですね、モデル化の妥当性を確認しましたと。
0:54:32	いえる技術的な根拠っていうのの資料設補足説明資料っていうのはいつごろできる予定なのか説明いただけますか。
0:54:47	に日本原燃佐藤です。すいません、ちょっと皆さんにお役人図画の補足説明資料としてすべてのデータがそろわぬのがいつかというご質問でよろしいでしょうか。
0:55:01	規制庁込みですはい。その通りですべてというのは地盤の地盤ではないですね、合理的なモデルの妥当性を確認したデータた方すんのすべてという意味、意味でそういう範囲で
0:55:19	聞いてます。
0:55:20	コサクです。ちょっと今の質問膨らまさせていただきますとですね、
0:55:26	今回はこの資料で特に 4 ページの内容を 1 ページで、
0:55:32	パラッと書かれてますけど、これではないことかわからないっていうところがあるので、こういう
0:55:39	妥当性確認をしていきますという方針でそのエビデンスを
0:55:48	検証の妥当性確認の内容、
0:55:52	そのときの解析、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:54	条件のエビデンスというようなことで一隻になるんですけど、いきなりせそろってからどんと出すのではないだろうなと思いますので、それをどういうタイミングで段階的に提示するのかということも含めて説明いただけますか。
0:56:14	日本原燃佐藤です。
0:56:16	4 ページの冷凍モデルの構築のとして書いてますがこれ妥当性のところなんですけど、こちらにつきましては、
0:56:31	これからモデルがほぼ完成してますんで、解析をそれを使って進めて参ります。ですんで、
0:56:41	1 週間から 10 日ぐらいかけてこちらの妥当性を資料のほうはそれでいきたいというふうに考えております。
0:56:51	それを補足説明資料、
0:56:55	というか
0:56:57	会合資料のような形で少し整理させていただいて、御説明したいというふうに考えておりました。
0:57:06	以上です。
0:57:09	コサクですけどすいません、回答しましょう。
0:57:13	我々は補足説明資料をいつ提示するのかと聞いているんです会合資料の提示を聞いてません。
0:57:19	日成いたしました。
0:57:21	日本原燃さとかで整理いたしました
0:57:28	違う。
0:57:29	2 週間
0:57:31	以内には補足説明資料として妥当性評価のパートについてはまとめたいというふうに考えております。
0:57:44	規制庁込みこそ
0:57:46	梶田小峰さんどうぞ。ちょっと今よくわからなかったんですけど、1 週間以内という規定は今日ですか。いつ何日か来てんなのか明確にしてもらいます。
0:57:59	2 億円サトウです。今日からを起点にして 2 週間以内に補足説明資料で妥当性の御説明ができる資料をまとめたいと考えております。
0:58:13	以上です。
0:58:14	規制庁カミデです。はい、今日が起点で 2 週間以内に A+ 範囲は 4 ページ目、4 ページの
0:58:25	一つ目の四角二つ目の四角ってということですか。
0:58:48	2 億円サトウでしょ持ちください。
0:59:30	40 年サトウです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:33	すいません御決議がちよつと
0:59:38	考えていたのは、
0:59:40	確か区域ムラノAとモデルの構築上の妥当性については2週間以内に環境するかなと思うので、
0:59:53	四角2行目の利益直化現象の確認していたところにつきましては、その班液状化の状態の設定今のところ
1:00:10	来増加抵抗曲線を平均値を使ってやろうと。
1:00:14	もしくは+ α はさらにもう少し液状化しにくい状態をやろうということで設定しておりますが、
1:00:23	場合によってはこっちの。
1:00:27	それでも液晶化してしまうような状態というのもちよつと今懸念されておりますので、その場にもう少し
1:00:36	築かしにくい地盤といったものを改めて設定しなければいけないということもありましたので、それについては、さらに
1:00:48	時間がかかるというふうには認識しております。
1:00:51	以上です。
1:00:55	規制庁カミデですと私最初に聞いたのは、2ページ目の
1:01:00	合理的なモデルの作成のところで、妥当性は確認済みですと宣言されるということなので、そのバックデータとかはいつ出ますかという話です。
1:01:14	今の話だと片手落ち終わってなくても、
1:01:22	会合で説明するんだと。
1:01:24	この辺まで終わってないですけど、妥当性を確認しましたと言って説明をするつもりなのか。
1:01:31	きちんとそういうものをそろえてなのか。
1:01:34	というのがよくわからなかったんですけどどういうつもりで今後の説明を考えるのか、教えてもらえますか。
1:01:46	日本原燃そのものです。
1:01:52	今想定している販液状化の解析結果が想定通りであれば、
1:02:02	静岡空港ではその妥当性をとこう説明できるのかなというふうに思いますが、これはちよつと解析のほうを進めてみないと
1:02:15	新たな調整が必要になるかもしれないということで、今ちよつと歯切れの悪い言い方になってしまいますが、そのときには、ちよつと検討課題、こういうのが液状化についての御出ますというようなちよつと説明になってしまう。
1:02:32	はい。
1:02:33	かもしれませんが、自治体は一応以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:38	規制庁コサクです。
1:02:40	徐々にわかっていて、
1:02:43	こられたような気はするんですけど、
1:02:47	一番上のモデルを作成で作成したものの検証。
1:02:52	をするというところまで終わらないと、ここは作成済みにはならないと。
1:02:59	思っていますけど、それはその理解でいいですかね。
1:03:05	日本原燃佐藤です。そのようにエース認識しております。
1:03:10	はい。直属ですね、総合そうするとその検証って何って言うと、次の3ページにあって、モデルっていうのをこういうふうにしたいとそれを検証してモデルでいいということを立証してきますよと。
1:03:28	いうことになっていって内容っていうのは2っていうのが4ページに書かれていると。
1:03:33	いう理解でいいですよ。
1:03:36	日本原燃佐藤ですが、その通りでございます。
1:03:40	はい、規制庁コサクです。そうすると、今話のあったところで二つ目の四角というのも一通り終わって工数高齢で評価できると。
1:03:51	いう形が整わないと実際に13/流すというところのモデルとしての作成が進み、ならないという理解でいいですね。
1:04:04	日本原燃サトウ朝日でございます。すいません、規制庁込みケースを割り込んですみません。
1:04:12	ちょっと話の流れ場4ページの四角一つ二つ目で話進めちゃってましたけど、三つ目の四角も、これやらないと。
1:04:23	簡易モデルでいいんでってならないですよなんかいつの間にか抜けちゃってたんですけど、どういうことですかね、ちょっともう少し整理をして話して説明いただけますか。
1:04:35	はい。
1:04:38	日本原燃佐藤でございます。三つ目の四角ですが、こちらについても、
1:04:49	ある意味、必要な地震動に対して何ケースか、見た上で、だ始めて
1:04:57	合理的なモデルの市政妥当性をお示しできることになりましたが、
1:05:06	つまり、
1:05:07	必要なそこ自身が地震動の数っていうかと
1:05:13	うんうんたら南端の地盤の条件ですとか等を方向性とか聞いている断面とかそういったものを全部をそろえて、ちょっとご説明するには来月の半ばっていうのは非常に厳しい
1:05:31	ので。一部の地震動に対して一部の解析断面と一部の地番長兼の企画と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:42	お示して方向性としては何となく見通しがあるというような御説明にとどまるかと思えます。以上です。
1:05:59	規制庁カミデですちょっといずれにしても、いつまでに何をしなきゃいけないのかと、そちらが、
1:06:07	したいところありがたいという説明工程に対して何をしなきゃいけないのかってところはきちんと整理されてないまま今日に至っているような感じがしますので、
1:06:22	その辺は
1:06:25	改めてきちんと整理をして聞かせてもらいたいと思えますが、
1:06:31	審査会合も11月中とは言ってますけど、
1:06:36	絶対無理をしてってということでもないかなと思っていてその2週間ぐらいをおくらせレバー皆で説明になるのであれば、そちらの方がふさわしいことと思いますので、いずれにしても
1:06:53	今日認識。
1:06:57	されたのは
1:06:59	モデルの妥当性確認しましたとちゃんと説明するためには、きちんと
1:07:06	こうやるんだといった検証やってですね、そのデータを出してもらってということが必要ではそれ絶対セットだよってところを認識いただいたと思いますので、ちょっとそれを踏まえて、今後の予定ないですね。
1:07:22	次回の会合の説明範囲だとか、希望の日程だとか、整理をいただければと思いますけど、いかがですか。
1:07:31	ふうん。
1:07:33	日本原燃佐藤です。はい。
1:07:38	ちょっと頑張ら株説明にならないように、しっかり工程確認して
1:07:47	ご報告できるように準備いたします。以上です。
1:07:50	規制庁カミデです。あとですね、やはりその4ページ目の内容もなんか評価が終わってから初めて説明するってような形ですごい聞こえていて、これまでもいろんなところで言ってますけど、その方向性ないですね。
1:08:09	例えば中間の敬三把握しようっていう液状化の物性値か、結果が出てから、我々が見て、これじゃあふさわしくないでしょう。よく確認できないんじゃないですかと。
1:08:27	ようなことになって思ったその分、手元になると思ってますけど、その辺はどうされるつもりですか。
1:08:39	日本原燃佐藤です。それとは液状化については、間隙水圧比がどれぐらいの状態であれば、正規のかっていうふうにみなせるのかといったところの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:52	今まではもうあるかと思imasのでそういうところについては、我々海水全部終わらす前に位置等をご確認いただくような機会は作りたいと考えておりますので、その際には一つ目の四角の中の検討項目についても、
1:09:10	だからまとまるところもあると思imasので、例えば
1:09:16	上部架構をつけないでもう評価上はそんなにインパクトはないんだっていうのは、そういった根拠を確認していただく機会とセットでちょっと
1:09:33	うん。
1:09:36	会を設けさせていただきたいと考えております。以上です。
1:09:42	はい、規制庁込みですわかりましたを販液状化みたいなもの以外にも
1:09:49	検討を進める上での条件をあらかじめ
1:09:55	認識を合わせておくっていうつもりはあるということで理解しましたと。
1:10:03	そうですね。ちなみに
1:10:07	液状化みたいなものはもうほぼほぼ検討は進んで行けみたいな話ですけど、いつごろ話をしようとかっていう計画はありますか。
1:10:21	日本原燃佐藤です。
1:10:24	中身。
1:10:28	少々お待ちください。
1:10:31	荷揚のミヤモトでございます。そののちょっと割り込んでしましまして、班員液状化と言うよりは、今、液状化強度曲線っていうのは、今、下限値を設定していただいておりますところを構成をちょっと土案の姿えさせていただきます、
1:10:50	構成を変えて半期事故って言いましたけど、そういったアプローチをちょっとしたいなと思っております。
1:11:02	規制庁カミデです。
1:11:05	名称はいつでもよくてですね、
1:11:09	いつごろ、
1:11:11	そういう説明をされる予定ですかということに対して、
1:11:16	どうという回答だったんでしょうか。今の説明で終わりってことですか。
1:11:21	日本原燃梅田です。これからのテーマコメントいただきましたんで精緻関係いろいろ整理させていただいて口実ヒアリングしていただきさせていただきたいと思imas。
1:11:37	規制庁コサクですけれども、今の話もですね上流として、
1:11:42	なんでこの検証が必要なのかと。
1:11:46	いうことを押さえてないと、今の物性値をどう変動させればいいのかっていうこともわからないですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:54	その考えを整理をしてこういう物性値の入れ方をすれば、検証としては十分であると。
1:12:02	というようなことをまとめて方針として提示をいただきたいとそれがいつなんだということです。それを踏まえて、検証の観点として不足はないかみたいな話をして一式漏れのないような形で解析を進めていただき、
1:12:20	結果をお聞かせいただきますという流れかなと思って。
1:12:25	たんですけど、認識は合ってますか。
1:12:29	日本原燃見渡すコサクさんのおっしゃる通りだと思います。まずは物性値関係とか解析、その他の条件とかその辺を確認していただいて、開析度並行して進めますけど、そこら辺の上流規制庁さんと似た形で
1:12:47	解析の推移させていただきたいと思います。
1:12:51	規制庁コサクです。握りは少ないんですけど、一応その認識としてずれがあったらコメントするよっていうぐらいと思っていただければと思いますけど、それで更新みたいなのを整理をして提示いただくっていうのはいつぐらい。
1:13:06	って思われてるんですか。
1:13:11	日本原燃佐藤です。
1:13:13	先ほど影響危険にして2週間後をめどに整理してとかを考えております。
1:13:22	規制庁コサクですけどそうだとするとですね、2週間後っていうのは当カードってことですよね。
1:13:32	当課に提示されて15日、今いう枠として押さえている審査会合っていうのはちょっと無理がありますよね。
1:13:40	もうその時点で15はもう諦めて、
1:13:43	その2週間後ぐらいの会合に向けてっていうことしかなくなっちゃいますけど。
1:13:49	そういう認識ですかね。
1:13:58	2.2 サトウです。
1:14:01	なるべく早目には出したいとは思うんですか。今のところをちょっと作業型とも完全な調整も
1:14:12	はい。コサクですすいません生活してるつもりじゃなくてですね、そちらが15にやりたいと言っているスケジュールとは思えなかったの聞いてるっていうだけなので、ちゃんと先ほどカミデが言ったように、作業プロセスを明確にしてくださいね。
1:14:29	それがどういうふうに進むのかということとまとめてそれに応じて、どういうふうに進めたいということとちゃんと伝えてくれるればいいということですので、その2週間後っていうのが、作業として必要な時間なのであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:44	それは当然それでやるべきことなので、であればヒアリングなり審査会合って いうののスケジュールをそれに合わせて設定していくと。
1:14:53	ということなんでそのあたりははっきりするように提示いただければと思いますの で、その作業プロセスとしてはですね、4 ページで、これ大きく資格三つあって その中にポツが幾つかありますけど、それぞれに作業項目として、
1:15:11	分割されるようなものだと思うんですね。
1:15:15	なので、まずそれぞれの項目がいう状況なのか。
1:15:20	検証としてどう進むのかと。
1:15:22	というようなことをする整理をしてSTARーどのタイミングでどこの部分をどの程 度確認できるのか議論できるのかということはあるようにしていただければ と思います。よろしくお願いします。
1:15:37	はい、日本原燃佐藤です。カミデとちょっと作業状況を踏まえて、
1:15:46	各項目についての
1:15:51	まとめ方を整理している御説明するようにいたします町です。
1:16:02	規制庁カミデです。すいません今のやりとりで私の認識がまたちょっとずれて しまったので合わせたいんですけど、
1:16:11	今ほどの話でインプット要はどのような条件でやりますかっていう話についてはち ゃんと上流こういうルール、
1:16:22	ロジックこうこういうロジックデータと線説明するから。よってこういうプラスパラ メーターの振り方をしなきゃいけないです結果としてはこういう辺りになります って話をちゃんとしてくださいねという話で一応同意されたと思うんですけ ど、それをいつにしますか。
1:16:41	っていうのが、今日を起点にし、2 週間後と言われたような気がします。
1:16:48	その前も今日規定 2 週間後っていうはどうあって、
1:16:53	その時はインプットだけの話じゃなくて、この 4 ページにあるような検証を終わ ったものが最後の資格については代表班なっちゃうかもしれないけど、2 週間 ぐらいであります。
1:17:08	いう話で、
1:17:10	ちょっと何かいつ何が出てくるのか、またよくわからなくなってしまって、
1:17:16	4 ページの検証の結果を 20 款 5 になるのであれば、その前手戻り防止で条 件の話をするんじゃないかなと思って話をしたんですけど、今、ちょっとどちら も 2 週間後って言われてしまってよくわからなくなったんですけど。
1:17:32	少し整理して説明いただけますか。
1:17:41	日本原燃佐藤です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:45	済みでは確かに二つ目の四角の条件については、もう少し我々のほうでこういう条件設定で
1:18:00	こんなことをしたいんだというのは、2週間を待たずにして指導ヒアリング等で
1:18:08	ちょっとこれに合格した話になってしまうかもしれませんが、させていただいたほうがいいのかなどというふうに考えますので、それは2週間を待たずに、
1:18:23	三つ残りの二つの資格については、2週間をめどに
1:18:35	解析が全部そう思いませんが、ほぼ方向性なりで、その妥当性を示す根拠としてはこういうもの。
1:18:43	を使っておりますというところは、指針をお示ししたいというふうに考えております。以上です。
1:18:56	規制庁カミデです。一応私の認識が変わったところは是正されたと思いますけど。
1:19:04	本当に
1:19:06	この2ポツ4ページの二つ目の四角だけ先行で話をするべきなのかというところは当然そちらが決めることではありますけど、工事全体として効率的に進めるときに、
1:19:24	どのホールドポイントをどこに置くかっていうことはちゃんと考えられた方がいいと思いますので、今の説明。
1:19:34	に限らずですね、きちんと検討いただいて連絡いただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:19:44	日本原燃佐藤です。
1:19:47	おっしゃっていただいたように
1:19:50	一つ目の四角だけではない。
1:19:54	条件の確認もちょっと今の何だっというわけじゃないんですけどあるとかあるかもしれませんのでそういうのを整理しまして
1:20:05	ご確認いただく機会を少しタービンを考えさせていただきたいと思います。以上です。
1:20:16	規制庁コサクです。先ほど申し上げましたけど、どれをとかじゃなくてこれ全部の検討項目ごとにそれぞれどうなのかということをもとめてください。それについてですね、現状だと15辺りに審査会合の予定。
1:20:34	低枠は確保してるんですけど、それをやるやらないどの程度にするとかっていうところを
1:20:43	決めていかなきゃいけないですね、なので、1週間内にはその状況をはっきりさせて審査会合でここまでやりましょうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:53	いうことの整理をしないといけないのでその点で作業スケジュールなり、あとは補足説明資料として計上いただく時期というようなことを
1:21:06	連絡をお願いします。
1:21:10	日本原燃佐藤です。はい、検討項目全体の整理を含めて
1:21:16	話し合いだから、その後のスケジュール等についても連絡するようにいたします。以上です。
1:21:29	規制庁カミデです他の資料で言うと、2 ページなり、ちょっと今後の進め方について、国民実効ある方いらっしゃいますか。
1:21:42	周長のキシノです。ちょっと今の話に絡めて1 点だけ確認なんですけれども、先週のヒアリングとか面談で大体そのモデルの成立性のめどが立つのが11 月の3 日ぐらいだ。
1:21:58	説明がそちらから設定がそれぐらいをめどにまた状況を確認しましょうかっていう話も出たかと思うんですが、一方で先ほど2 週間後ぐらいにっていうようなお話も出ていて、先週の時点で考えたときよりもさらに
1:22:18	モデルの成立性を説明する上でこういった項目も強くこういった方針で進めるっていう精査を進めた結果、11 月3 日ぐらいというのは、もうキャンセルして今の時点では2 週間後ぐらいに説明がされるというそういう
1:22:35	方針と予定時期変わったという理解でよろしいでしょうか。
1:22:46	日本原燃サポートです。はい。現時点での作業状況を踏まえて
1:22:54	2 週間程度の時間を今のところ想定しておりますので、ちょっと
1:23:00	以前お伝えした内容と伝言っております。以上です。
1:23:09	直近のですね。はい、わかりました。
1:23:13	私から以上です。
1:23:20	規制庁カミデです。ほかなければ3 ページの内容に聞きたいと思えますけど、ちょっと今までの話で、今後どうなるのかっていうのが結構見通しが
1:23:34	偉く入れなくなってますね、ちょっとあれなんですけども一応。
1:23:42	開放で説明するような内容の資料として名見るとですね、ちょっと説明が不足してるようなみたいなどころはあるので、ちょっと3 ページについても確認させてもらいますが、
1:24:01	まず、
1:24:03	これはモデルの説明のところを名乗って、
1:24:08	4 ページ目にですね名主催済みの話がありますけど。
1:24:15	このメッシュの話をもまず3 ページにて、そのあとに、
1:24:21	何か評価が必要であれば、その4 ページ目の評価っていうことだと思いますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:28	4 ページ目の名刺の説明を見ると何か詳細評価は特にしてないようなので、3 ページ目ですね、でですね、こういう目的で、こういうメッシュにしているんですよとかっていうのは、
1:24:43	こちらで各号の内容かなと思いますけど、いかがですか。
1:24:52	日本原燃頭です。はい、戸籍の通りかと思しますので、4 ページ目に書いていることを、サンプル書いてるところ、こちらもどちらに書くべきかということも含めて整理されたと思います。ご指摘の点は 1 人目のところはモデル化のところかと思しますので、3 ページ。
1:25:09	モデル化のところ、もちろん再度どのように決めたのかと。
1:25:13	考え方含めて、結果についてもお示したいんですが、考えてございます。以上です。
1:25:21	規制庁込みです。あとですね、3 ページ目の
1:25:28	上の図だと入力地震動っていう形が示されていて、
1:25:34	これなんだっていうことになると、これをどうするんだっていうことだと、4 ページ目の三つ目の四角の
1:25:42	二つ目のポツなのかな。
1:25:44	一応入力地震動と話があって、
1:25:48	きちんと
1:25:52	繋がるようにするには、
1:25:55	いずれのモデル、簡易モデルでもう下のモデルも両方ですね、ここで言ってる入力地震動っていうところから取り出すもんなんだと。
1:26:04	比較する高等加速度スペクトルっていうのはどういうものなんだっていうところまでちゃんと 3 ページで説明をしていたとかないと 4 ページで言っていることがよくわかつ降らないということなので、きちんとその辺りですね、記載を拡充して繋がりを
1:26:24	あるようにしていただきたいと思います。
1:26:29	日本原電の赤妻です。ご指摘の点踏まえまして 3 ページ目で書いているところが 4 ページで説明事項がしっかりその 3 ページの繋がりでですね、振動その他も含めて繋がりがわかる形で治療のほうは、中性子が
1:26:45	そしてありがとうございます色です。
1:26:50	規制庁カミデですので、それに関連して今の床応答スペクトルっていう話をしましたけど、4 ページ目の最後のポツで入っているように、これ有効と加速度のスペクトルの比較で本当にふさわしいのかっていうのは、
1:27:09	これもう、なぜこれでいいのかっていう説明をまずきちんとされてなくて、
1:27:14	先週のヒアリングで面談の中でもですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	この飛来物防護ネットの波及影響っていう意味で、本当にこれで比較すべきかっていうのは、なかなか悩ましいところ考えどころだなというところはあるので、そのあたりはですね、
1:27:35	いずれかの、なぜこれでいいのかっていう説明を加えてもらいますけど、そこできちんと説明してもらおうとこ事項だと思ってますので認識しておいてください。
1:27:49	ほかにあります。その辺含めて、
1:27:52	初め額でよいのかと、なぜこの委託料のかというところを含めて説明できるように、委員長のほうは修正いたします。
1:28:03	規制庁カミデです。あと3ページで、ウノもでの説明でいうとあとポイントとしては
1:28:10	NS走向EW方向をどうするのかとかですね、簡易のモデルはそれで一つのモデルで両方を評価できるようなモデルになってるんだと思いますし、それはなぜこういう考えで、そうしてますとかですね、で一方で二次元モデルは、
1:28:29	どうなのかといったような形もモデルの説明としては、胎児のポイントで結局1ページ目に、
1:28:40	何で開にするんだっていう目的上からたどっていくと、当然そういう説明になるんだらうと、説明も入ってくるんだと思いますけど、そういう点も視点としてあるんじゃないかなと思いますのでお伝えしておきます。
1:28:56	今回のイナズマ、今ご指摘いただきました通り、立て看簡易的な合理的なモデルを使うのかというところも踏まえての今回のモデルな方向性なしの急げねそこいだけのご要望表現できると。
1:29:11	いうところを
1:29:14	ちょっと補足説明また説明資料のほうで併記して説明したようにしたいと考えてございます。以上です。
1:29:25	規制庁カミデです。私のほうから3ページ目については以上ですけど他の3ページからでありますか。
1:29:34	規制庁ハバサキです今の質問といいますか話ちょっと関連する入れますか、例えば簡易モデルで、なぜ、例えば改良体の幅を40メートルにする方っていうことについては、今、回答はできますか。
1:29:58	大成建設の高橋です。元ネタに変わって該当します。
1:30:05	今はもともとですね詳細モデルのほうではNS方向、EW方向それぞれに対して名周期ってモデル化しておりましたんで、このたび、簡易モデルのほうはEWNS両方行動いつも出るという
1:30:21	イメージで身近で方向の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:26	寸法を採用して、40mの方、しておりますので、今後ですね、2時仮定方向のほうがより保守的な結果が出る、そういうふうなことを確認するエビデンスとしてですね。
1:30:41	NS方向とEW方向を企画した結果も用意する十分つもりであります。
1:30:51	規制庁川崎です。今短辺方向についてということなんですけど、これ40mぴったりでしたっけ。
1:31:01	んじゃない。
1:31:03	大成建設タカハシで11には40mではなくてですね、39.6mの寸法です。今回は
1:31:17	小数点のところ、繰り上げた数字で40m、そのように、
1:31:25	提案しております。以上です。
1:31:28	規制庁ハバサキです。
1:31:31	影響評価っていいですか。簡易評価をする上でそういうようなモデル化もあり得ると思うんですけど、今回後任のある意味本モデルになる場合にですね、何ら根拠が必要だと思います。例えば、
1:31:49	例えばですけど、面積とかのその正方形にしたときの長さとかですね、それだけ説明性がどこまであるかっていうのがわかりありえるです。今の説明ですと、ざっくり
1:32:02	数字丸めて40分にしましたっていうふうにししか聞こえないんで、きちんとやはりその根拠についてはですね説明できるのはよく言われる科学的な合理性を持ってですね、寸法一つ西試行決めるようにして参りたいというふうに思います。
1:32:18	40mって言うならば、きちんとその説明ができるようなですねと根拠のほうを準備を必要だというふうに考えます。
1:32:26	それともう1点、物性値については詳細モデルと地盤の補正值ですね、詳細詳細モデルと全く同じということですのでよろしいですか堂々とか、細かなところ除いてなんですけれども、
1:32:42	大成建設タカハシです。今のハバサキさんの質問の通り、物性値については、詳細モデルと簡易モデル、同じ数字を用います。それとですね、先ほどの先方の件なんですけども、コメントを反映しまして、きちんと
1:32:59	説明できるような、そういうふうな対応をとっていきたいと思っております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:06	京急ハバサキです。対応の方をお願いします。物性値に関してなんですけども4ページの中程にですねメッシュサイズっていうところにVs100埋戻度って書いてあるんですが、
1:33:21	埋戻とVs100ですか。
1:33:25	大成建設タカハシです。ええとですね、埋戻し指導の
1:33:32	対象事業がの約VSが100になっておりますので、その数値を引用しております。以上です。
1:33:42	規制庁ハバサキです。これ波によって変わるとは思いますけれども、その中で最小値がVs100だったんだというふうに理解しておけばよろしいわけですね。
1:34:04	制度大成建設タカハシです。
1:34:11	当Vsなんですけども、埋戻の場合ですね、高さ方向の異存がございますのでそのその依存性を考慮した値として、今、対象地のVs容み等別mを採用してございます。
1:34:31	規制庁川崎です。その点も含めて先ほどと同様ですね。
1:34:36	これちょっと影響を見てもましようっていうモデルならいいんですけども、やはり基本モデルとするならば、やはり
1:34:47	そういった点も含めて説明性が求められますので、装填十分注意をしてもらいたいというふうに考えます。
1:34:54	よろしいでしょうか。
1:34:57	大成建設タカハシです。承知しました。その辺も含めてきちんとした形でエビデンスのほう作成しようと考えております。
1:35:06	以上です。
1:35:25	規制庁カミデです。ほか3ページ関係。
1:35:31	特になければ4ページですねちょっと国庫にしますけれどもまず1点。
1:35:38	資料のイメージ。
1:35:41	としてはですね、今回4ページ出てますけど、大体これぐらいにコンパクトに要点を求めていただいた上で、例えばこの4ページの
1:35:56	最初のポツとかもし解析により確認済みみたいなことを見てますんで、あの会合においては、それから参考の1万に繋がってますよみたいなことを書いてもらい、そこに実際の内容はどういう考え方で検収作業したのかと。
1:36:12	いうことも含めて結構まで書いてあるっていうイメージとっておりますので、
1:36:18	ちょっとこれからどれぐらい必要が直るのか、凍っていくのかっていうのは今後の検討状況によるんだと思いますけど、この資料を見た印象としてお伝えしておきますので、とりあえずその点お伝えしておきます。
1:36:35	その他基本的に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:39	ここで、こういう観点が抜けてるんじゃないかということを含めてですね。
1:36:44	お伝えするのかなと思いますけど、耐震班のほうから何かありますでしょうか。
1:36:54	急遽ハバサキです。4 ページのところで、ちょっとこれは確認なんですけれども、
1:37:00	先ほど来からも出るのか、妥当性を確認するのか検証するっていうことで、最終的には三つ目のポチのところですね、詳細モデルと合理的モデルの非液状化と液状化時の
1:37:17	入力動の床応答スペクトルの大小関係を見て決めるというふうに理解されます。
1:37:27	それっていうのは、2 ページ目で言うと、非液状化や液状化の二つ目のポツのところ四角のところですね。
1:37:38	その段階である意味わかってくるということになりますが、そういう理解でよろしいんですか。
1:37:48	日本原燃風間です。はい。今おっしゃったところだと、2 ページ目の実際の二つ目の四角のところに 13%ということで、入力地震動の算定でございますけれども、実際は、モデル作成の段階目の一番上ですね。ですからのモデル作成の段階において、
1:38:06	詳細モデルとサトウWEBどの学校行った上で、モデルについては妥当であるということを確認したい、その結果を途中とその近くの中でお示するというふうに考えてございます。
1:38:20	以上です。うん。
1:38:22	規制庁ハバサキです。先ほどカミデのほうからありましたように入力動の基礎上の活動とスペクトルの比較だけでいいのかっていうのは確かにまだ残ってますけども、位置付けとしては理解しましたので、
1:38:38	その場合に非線形時可否駆非明らかじゃないやごめんなさいえっと液状化時のというときには、その上のポツ、四角のところですね、要は中間的な評価の状態も含めた形での比較になるというふうに理解
1:39:03	日本原燃佐藤です。
1:39:06	我々の範囲基準かというところを禁止しているのは、完全液状化した状態よりも半液状化のほうが施設に厳しくなるというようなことがあると。
1:39:20	やっぱり完全液状化ではなくてそれが半液状化の評価も一緒になるだろうということでもいいならないように確認したいと思ってますので、
1:39:34	ハバサキさんがされてるのは、液状化には半液状化とか安全基準の二つがある。
1:39:43	こういうふうに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:45	5 考え。
1:39:47	いろいろが
1:39:52	それとも
1:39:54	その二つが必要になるんだらうというふうにお考えになつてゐるということでしょうか。
1:40:01	規制庁川崎です。販液状化のほうが完全液状化よりも厳しくならないようについて、その判断はどこでどういふふうにされるのかを説明をお願いいたします。
1:40:22	日本原燃佐藤です。だの、
1:40:25	液状化のときの基礎上部の応答の、
1:40:33	完全液状化の時農業人上部の方を見比べて、
1:40:39	ることによって、
1:40:41	こちらが施設への影響が大きいかを
1:40:45	判断できるというふうを考えてますんでその時点で
1:40:54	切り分けるのでございます。以上です。日本原燃の宮本です。すいませんちょっと回答がちょっとまずくて申し訳ございません。基準化と販液状化、先ほどちょっと私を進展させていただきましたが、
1:41:11	まず上流側の水位が規制庁さんと、まだ確認ができてないような感じなんです。それで、液状化といういなくて、液状化、
1:41:26	強度の初期剛性を±短縮も与えていたそういう方が範囲は液状化のような状態を指しているのか、そういったところも規制庁さんのまず確認していただいて、それでこの議論はしてさして進めさせていただきたいと思ひます。
1:41:44	規制庁浜崎です。議論のスタート点はわかりましたので。説明のときに、その廃液浄化と称する。
1:41:57	場合の最終的な扱い系ですかね。
1:42:00	それについての説明をしてもらえれば結構ですので、そのときに、じゃあ、説明のほうをお願いします。
1:42:07	日本原燃の見える化承知いたしました。
1:42:16	今日のキシノです。ちょっと4ページについては、
1:42:21	全体の御説明などを今後見直されると思ひますので、それを見てから、
1:42:29	より詳細な確認は、
1:42:31	してもいいと思ひんですが、ことのどうしても今の説明資料の中ではわからないところがあるところだけちょっと企画にしておきたいんですけど、一つ目の四角、これ見出し側の合理的なモデルを用いた記録現象の学校にという意味出しで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:47	その人に事前検討を実施してステップ I II III 御説明があるんですけども、ここでは、このStep123 で何をしようとしているのか、もうStep3 で代表かを選定と書いてあるので。
1:43:03	補足三つ目の四角に囲んで用いるであろう代表はここでステップ選定ということなのかなとも読めるんですが、その二つ目の四角でやろうとしていることってというのが何なのか簡単に教えていただけますか。
1:43:21	ちょっと、
1:43:26	大成建設の高橋です。ええとですねまず今例えば 2 ページのほうに書いてある資料フローですと、非液状化、もしくは議場火事この二つしか
1:43:42	ターゲットにしてない評価になっておりますが、その経営液状化と液状化の中間の辺りに、次回の地盤の状況っていうのは、その中間の状態っていうのも存在しております。その中間の状態において、
1:43:59	ピーク値が発生してないことをあらかじめ事前に確認する。それがその目的に、
1:44:07	目的でこの二つ目の四角は記載しております。
1:44:11	なので、まず代表班に対して、想定しています代表班に対して、このステップ 1、ステップ 2 のような評価考課をします
1:44:26	来液状化もしくは完全液状化の中間のところピーク値は出ないよっていうふうなのは、事前に確認しておいて、このステップ 3 に大池で代表か違いに対しても同様な傾向になりますよというふうなの。
1:44:42	確認するというふうなのが、このステップ 3 の
1:44:47	目的でございます。
1:44:50	以上です。
1:44:51	委員長のキシノです。ちょっとまだわからないところもあっても次回しっかり確認したいと思いますけれども、一つ目の四角では、今おっしゃった液状化と非液状化の中間
1:45:05	状況という想定したときどうなるかの確認、効果、
1:45:09	国だっけなんですかそれともSTEP3 でその代表化を前提であって、結局その使った評価っていうのはどっかで使われているんだと思うんですけども、そうするとその一番下の三つ目の四角に繋がる、
1:45:29	全体的な検討の流れをこの二つ目の四角で説明しようとしているかのように思って読んでいたんですが、今の御説明を聞くと、非液状化という評価の中間に特化した検討ここで行うような特化した内容になっているかのように聞こえましたので、ちょっと私も認識は間違いないのかももう一度

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:49	今週ていただけますでしょうかねとですね申し訳ございません。今こちらの二つ目の四角の目的というのは、もう関連に南極制度液状化と非液状化の間の状況を確認する。
1:46:08	それに特化した目的でございます。なので、13%の中の代表歯を選定するっていう目的主たる目的ではありませんで、ここのStep3 で書いてある理由内容というのはどういうことかといいますと、
1:46:24	その液状化非液状化の間の状態を確認する上で、いわゆる設計に用いる代表はずないものをベースにこの確認しても意味がないものだと考えておりますので、
1:46:42	一応、ステップ3 の段階で13班の中で、チャンピオンになる涙っていうのを確認して、もし違うのであれば、STEP1 ステップ2 の表、
1:46:52	ほかを改めてなんていうのがチャンピオンになったな部分に対して確認をし直しますよ、そういうつもりで書いてございます。
1:47:05	以上です。いつもうちのです。はい。あらまし理解しました。そうしますと、三つ目の四角で合理的なモデルの妥当性検証は詳細モデルとの比較で行うと思うんですけど、この詳細モデル。
1:47:23	持ち込むその地震動とかっていうのは、全体をやるのか、何らか別の
1:47:31	プロセスで代表かを選定してやるのかその辺りを今回全然説明がないように思うんですがその飛び方なんでしょうか。
1:47:39	はい。当大成建設高橋です。ここのすいません期待オンしておらず申し訳ありませんでした。最後のこの四角のところの招待モデルと合理的なモデルの比較なんですけれども、代表がのみを対象とする。
1:47:57	そういうつもりでおりますというのはですね、最終的に部材の設計もしくは各部位の設計、設計に対して、もう最終的に決定要因となる地震はに対してのみ、
1:48:15	実施する、それが実施すればよいというふうに考えております。なので、最終的に設計に用いることになった。
1:48:26	一番大きな発生応力を応力が発生する波に対して比較検討を行えば、保守性のあるなしについていえると考えております。
1:48:43	以上です。
1:48:45	それとですね、青いぼんやりとイメージが掴めてきました。三つ目の四角で用いるもの、代表は今お考えなんだけど、その選定プロセスの二つ目の四角で説明があるものと多分別のプロセス。
1:49:01	ということかなと理解しました。それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:05	一つ目の四角の内容等、三つ目の四角囲いの繋がりにていうのは、多分今回の検討の全体の流れをおそらくここで説明することになると思っていますので、冒頭上出からもありましたけど、ここの説明内容。
1:49:23	というのが明確というかまだ整理セキュリティないところが結構あるかと思えますので全体の流れやその考え方の考え方それと妥当性の根拠なんか他流入するちゃんと整理して説明していただきたいなと思います。
1:49:42	その大恐慌に絞り込む過程というのも、先ほど床応答だけでいいのかといった議論もありましたように、
1:49:52	何にどこの部位の
1:49:55	何の項目に着目して評価を進めていくのかっていうところが非常に重要なのかなと思って思ってますので、きちんとそこをですね、次回以降、どういう考えで、
1:50:08	進めていくのか説明できるように整理をして説明をしていただけるようお願いしますが、いかがでしょうか。
1:50:19	はい、日本原燃のパンフレットお願いからご回答野菜等ただいま
1:50:26	保険等からですし、今おっしゃっていただいたのに対しまして、所通り4ページはちょっと並列的に近くのところは書いてますので、全体の妥当性の確認するというふうに位置付けられるのかと。
1:50:41	所を含めて整理したいと考えてございます。また最後におっしゃられた代表の選定ですとか保守性のところにつきまして、2部地震動で比較するということについても、なぜその部分に別のでもいいのか、その抽出箇所でもいいのかということを含めて説明できるように資料のほうは、
1:50:59	記載して設置したいと考えてございます。以上です。
1:51:05	その長期のです。はい、よろしく申し上げます。
1:51:12	規制庁津金です。イトウ4ページ、最初の四角の二つ目のポツなんですけども、
1:51:18	土部等の条文がこうについて切り離して、
1:51:23	開示するという書かれてるんですけども、
1:51:26	これ、なぜ一体でやらないのかということですとこのまま時間分の滞留以下小さい。
1:51:32	あるんですが、地盤の影響郡部の影響がどう格好に、
1:51:38	与える影響っていうのを確認する必要があるんです。
1:51:41	それがこうモデル化する必要があるんじゃないかと思うんですけど、その点いかがでしょうか。
1:51:54	大成建設タカハシです。今ですね上部架構を用いない形でモデル化を提案してございますので、合理化の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:07	このモデルの妥当性確認の中です、その辺の上部区画をモデル化した場合とモデル化しない場合でもほぼ同等な結果が出る、そのようなエビデンスを作成していこうと考えております。
1:52:22	で、そちらのほうの資料の会議にて御確認いただきたいと思っております。以上です。
1:52:30	規制庁使うですと説明があるといったりいたしましたように頼ん区域についても安全率の面談ではモデル化するというようなお話があったかもしれないんですけども、
1:52:44	大成建設タカハシです。今現状としては、首をモデル化しない方向で考えております、杭をモデル化することによって、杭に発生する応力というのが手に入るという大きなメリット。
1:53:00	あとはあるんですが、結局杭をモデル化しますと、杭のピーク値がによってです。メッシュサイズの
1:53:10	細かくなってしまいますので、今回はですね、まず簡易モデルの一番の目的は拘束に処理するこれが第1の目的にしておりますので、メッシュサイズをあまり細かくならないのに、そういうふう配慮しまして、
1:53:26	今回は杭をモデル化しない、そういう方向で進めていこうと思っております。なお、杭に対しての評価も今回モデル化しないする場合でそれぞれ比較をモデル化した場合、
1:53:42	詳細モデルでの杭をモデル化したものと今回の簡易モデルにおいて、杭を評価したなんていうんでしょうか。当モデル化しないですけども、回位評価モデルからその後処理として、
1:53:59	杭の抗力を算定する手法を考えておりますので、それぞれを比較しまして、保守的であることが確認できる、そういうふうなご指摘交代は同等の結果が求められる、そういうようなエビデンスを作成するつもりでおりますので、そちらのほうでご確認いただきたく思っております。
1:54:19	以上です。
1:54:21	規制庁繋がるです。
1:54:24	先ほどと同様にこの説明があるということなんですけれども、やはり人数が果たして妥当が向かって避難することとなりますので、余裕時間結果だけというよりは、その検討過程やによって手法がどんなものができるんだと思います。
1:54:41	今のお話では分離するとか別のものと考えですけども、図2以上の図のところ介護度に必ず新任に向けて矢印っていうかと思うんですが、質問の説明が全くないんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:57	設計上どういふふうにされてるんで書いてるように分岐したメディアにしたとはして県民会議で問題視して、今後評価を行うというようなことだと思いますがいかがか。
1:55:16	大成建設タカハシです。えっとですね、3 ページ目のモデルなんですけども、確かにその辺、具体的な説明を記載せず、申し訳ございませんでした。今我々のほうで想定しているこの3 ページ目の簡易な
1:55:33	解析モデルなんですけども、イメージとしましては、C地区が二次元になった、そういうふうなイメージでございます。なので、上部の失点系はないんですけども、この基礎側等々のところで発生した加速度を用いて、
1:55:50	別途を作成しております。一つは工程の非線形モデルにそこでの応答加速度を入力する形で上部構造の評価を行っていかう、そういうふうに考えております。
1:56:07	以上です。
1:56:10	規制庁使うベースをやろうとしていることは今の説明ができました指摘といいますか、出そうとしてその上部架構モデルも来話することが妥当かどうかちょっとここはまだ決まってそれも含めて、
1:56:25	説明していただきたいと思います。以上です。
1:56:30	大成建設タカハシです。承知しました。
1:56:34	以上です。
1:56:36	規制庁ハバサキです。今ちょっと回答の中に参りましたけれども、
1:56:43	非液状化の場合は二次元SHAKEの二次元版みたいな話をされたんですけど、これ冒頭も言ったんですけど、全応力の解析っていうのは等価線形解析なんでしょうか。
1:56:56	遅刻。
1:56:57	大成建設タカハシです。ええと時刻歴です。
1:57:04	規制庁ハバサキです。逐次非線形で全応力はやられるということを何等を
1:57:14	通常といいますか他の施設の施設についても逐次非線形入力動を求めるっていうことはされてないというふうに思うんですが、今回ネットに関しては、入力動に関しては、逐次非線形こう主体として入力動は、
1:57:33	3. するという方針になるということなんでしょうか。
1:57:41	よく見えん
1:57:51	それで、ちょっと大成建設タカハシです。今ですね、液状化のほうでは、逐次非線形で時々刻々と支店形成を考慮しております。なので、全応力解析も液状化のほうの有効応力解析に合わせて、
1:58:09	同じく必須考慮すべきかと、そう考えております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:17	規制庁ハバサキです。
1:58:20	全応力を逐次非線形で見ることを求めるのがいいか悪かって話じゃなくて、きちんとそこはですね、わかるような形で表記してもらおうということと、これ基本設計方針とかにも関わってきますのでですね、事業者の方がそこにきちんと認識をしてもらいたいという趣旨です。
1:58:39	よろしいでしょうか。
1:58:42	ナカガワ確率は何もお答えいただきましたけれども、我々のほうでもしっかりその激戦系を使うところをやっぱり明記するパソコンも設計の方にも、その差はないようにという意味でも確認して、しっかり
1:59:02	実際をしたいと考えてございます。以上です。
1:59:20	規制庁の武田です。
1:59:22	今ですね当然売り子駅の逐次非線形で実施するということであつたんですけども、全応力解析の場合と、有効応力解析による場合両方それぞれで解析コードっていうのは同じものを使用してるのでしょうか。
1:59:47	大成建設タカハシです。両方とも同じFLIPが使われて評価を行います。以上です。
1:59:58	規制庁の武田です。こんな同じプログラムということであれば、じゃあ、
2:00:04	非液状化と液状化の違いというのは純粹にその液状化。
2:00:09	大間をするかオフにするかだけの違いだということで理解して問題ないでしょうか。
2:00:16	大成建設タカハシです。おっしゃる通り移送のような認識で結構です。同じモデルと同じ解析コードで同じモデルを使用して液状化するかしらないか、それだけの違いだけで実行する、そういうふうな予定になっております。以上です。
2:00:36	規制庁のタケダつはいわかりました。ありがとうございます。
2:00:49	規制庁カミデです。報告規制庁法から学校んでしょうか。
2:00:58	すみません私からの話を聞いていて、今後の説明においてちゃんと明確にして欲しいのはいろいろ時すね比較しますとか、これは保守的であることを確認するっていう言葉は変わっているんですけど。
2:01:13	いろいろファクターが店波等、カトウ係数液状化ケースの全応力なのかとか、簡易モデルなんか詳細モデルなのかっていうところを今回いろいろ要素があつてですね
2:01:31	なかなか説明が面倒なところであるんですけど、一つ一つそこを明らかにして話をしていないと何か認識のずれが生まれてしまうんじゃないかなって思いましたのでちょっと高い気をつけなきゃいけないんじゃないかなと思ったところ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:49	ほか規制情報わからなければ、
2:01:53	すみません、古作です。今カミデが言った通りなんですけど、この資料見て一番最初に気になったのは保守性という言葉なんです、何をもちて補修性と保守的と思うのかっていうのは、それぞれの観点があつて、
2:02:09	最初の方にカミデのほうから床応答加速度スペクトルということでもいいのかつていう話もありましたけど、それぞれの内容に応じてどうということを考える必要があるのかと。
2:02:20	いうことをちゃんとない
2:02:24	技術的な内容として述べると保守性という言葉で丸めないっていうことが大事だと思いますので、一つ一つ丁寧に
2:02:34	技術的に検討した内容整理をしていただければというふうに思ってます。よろしくをお願いします。
2:02:43	日本原電ちゃんとメスのタイマー等をしていただきましたのか皆さん、またコサク参加いただきましたところの根拠を持ってと。
2:02:50	いうところのあれもこれまでもなかなか説明してなかったところがございますので、そこを明確にして、その保守性をオオオカの結果につきましても説明できるように、資料のほうは作成していきたいと考えてございます。以上です。
2:03:10	規制庁カミデです。ほか規制庁後よろしいですかね。
2:03:16	日本原燃顔も何か最後に確認することはありますか。
2:03:29	日本原電サトウです。特にございません。
2:03:32	以上です。うん。
2:03:34	規制庁、カミデでつつ一致を
2:03:41	すみません進行タケダさんに戻します。
2:03:46	はい、規制庁の武田です。
2:03:49	それではですね、
2:03:52	今判断でしたら当資料の修正方式、
2:03:57	確認するところなんですけれど。
2:04:00	いやもう叩きA棟、
2:04:04	今までのやりとりを踏まえまして、今後どう進めていくかという総括と、あと不開示情報発言がなかったか確認をお願いしたよろしいでしょうか。
2:04:18	日本原燃のイナズマです。日情報の発言につきましては東邦成長も別途なかったと考えてございます。この説明資料の訂正でございますけれども、ビルの中であった通り、まず何を説明すべきかと、いつまでに何を進めていくかというスケジュールをですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:37	来週早々にお待ちいただきたいと思います。そのためとちょっと今週ですね、いつごろまで出すのかということを整理させていただきたいと考えてございます。色です。
2:04:52	規制庁竹野です。ありがとうございます。
2:04:56	それでは、次の資料の確認に進みたいと思うのですか。吊具詳しくから西管理がどう変わっているものですか。もう少し休憩を挟みたいと思います。
2:05:11	今 15 時 35 分ですので、
2:05:16	50 分再開でもよろしいでしょうか。
2:05:21	はい、表現にビジネス大丈夫です。
2:05:26	規制庁タケダですね。わかりました。それでは 50 分までで一旦休憩を入れたいと思います。
2:05:32	すみません、6 を一旦オフにさせていただけるでしょうか。
0:00:01	どうぞ。
0:00:03	規制庁の武田です。それではヒアリングのほうがいい。再開いたします。
0:00:08	次に確認する資料は、耐震建物 08 になります。この資料につきまして日本原燃のほうから説明ありましたらお願いいたします。
0:00:19	はい。荷揚のオガセでございます。お配りしており、本日出ししております。耐震建物 0808-RQにつきまして本日の修正してきた内容について概要を説明させていただきます。こちら資料の表紙のところの下にですねボックスで今回更新した部分の主なところについてお示しております。
0:00:37	三つポチありますけれどもスタッフの二つ、冷却塔関係のところにつきましてばらつき幅の考え方後MMR部分についてまた岩盤の物性値に置き換えているところ、こちらの考えにつきましてですけれども、これまでヒアリングを審査会合等で御説明している内容について、この補足説明資料でもきちんと反映するということでしたので、
0:00:56	今回反映をさせていただきました。こちらについて内容はちょっと割愛させていただきます。今回大きなところといたしましては土地の一番燃料加工建屋における地盤の非線形性に関する確認ということにつきまして経験等々考察を深めてきたところでございます。
0:01:11	資料のほうへ 35 ページ通しの 35 ページをちょっと開いていただけますでしょうか。
0:01:18	はい、35 ページのところでございますけれども、こちらの課題認識と実際にその課題に対して確認することについてまとめて整理しているところでございますが、まず一つ目の課題といたしましてはひずみを公開のこれ表層地盤のと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>ここで大きくなっているというものでございますが、こういった状況で等価線形解析を入力地震動の算定に用いていいかというところの課題。</p>
0:01:37	<p>もう一つの課題といたしましては、36 ページに図をつけているところでございますけれども必ずみ依存特性の曲線、これに対しまして実際の試験データが得られているのがこちらへ示しているんですけれども、1 ページ、1%当たりのところまでがTHAIられているところでしたそこから先の必ずみ領域については、外層範囲になっているところになってございます。</p>
0:01:57	<p>これらについてこういう階層範囲になっているということについて、このままのこの点線で書いているような線ですね、これまで使っているのかどうかというところの課題、この二つの課題があるというところでございます。この課題につきましては前回の審査会合でもご指摘をいただいておりますので、確認として以下こっからご説明する内容について実施してきた。</p>
0:02:17	<p>そういうところになっております。まず課題 1 のときは線形解析の適用のところですが、こちらの逐次非線形解析時々刻々としての形成を評価することが可能な解析ですが、これとの意見じゃ使っております等価線形解析でこの両方を実施した上で建家音を比較することとしております。</p>
0:02:36	<p>またそのまたさらにですけれども、この課題の二つ目が基礎盤上の確認の際にですけれども、この逐次非線形解析の際に極端なパラスタを実施いたしました。こちらの 38 ページの図をご覧くださいと思います。</p>
0:02:49	<p>38 ページの図にございますけれどもこちら上のほうの図をご覧くださいと思います。一番の国家曲線を記載してございますけれども、こちらの逐次非線形解析へ考慮する際に実施する際に考慮しております地盤の骨格曲線へ統制モリノのものをお示しているところでございます。</p>
0:03:05	<p>このうち赤線のものにつきましては、先ほどお示しました地盤の有効せん断ひずみの浅部ですね改装してなりません。これに基づいてつくった国家曲点ということになっております。これに対しましてパラスタを実施いたしまして、共選②と③というところで、③としては完全に地盤が降伏するようなところを</p>
0:03:25	<p>そうて仮定するというようなところで地盤がやわらかくなるひずみが大きくまた進展するほうに極端な設定というところでございます。また青い線がケース 2 のほうにつきましては、この点線の A. 前提か損壊した範囲につきましては、地震計がこれ以上減らない。</p>
0:03:41	<p>そういったような状況も考えるというふうに考えておりますので、これまた極端なケースといたしまして、一番のところでの浅部構成ですけれども、それがそのまま延びていくというようなケースでこういったケースを仮定して状極端なケースでパラメータスタディの放置したというところでございます。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:58	これらについて建屋ろうとまで算出いたしましたしてそれを比較したのが、その 25 ページ以降というところになってございますが、こちらのすいません通しの 41 ページですね、すみません、通しの 41 ページ以降でございますけれども、こちら以降の最大応答分布、ひずみ、あとあのスペクトルなんかも
0:04:18	してございますけれども、まずあのパラメータスタディのほうを実施いたしましても、その逐次非線形解析の結果に対して有意な影響はないという結果になっているというところ、また、黒線で等価線形解析による建家をと記載しておりますけれども、それと比較いたしましたも逐次非線形解析と比較いたしましたも、建屋応答に有意な差がないというようなところの結果が得られる。
0:04:38	おっしゃるので、最終的な結果といたしまして等価線形解析を用いている現状の手法、これに基づいて入力地震動算定して建屋応答を算出するというところについては問題がない結果になっているというところを得ているところでございます。
0:04:51	最後になんですけれども通しの 52 ページをお願いできますでしょうか。
0:04:58	はい、52 ページでございます。今回お出ししている資料なんですけどこちらの青い枠で記載して各アピールところ Ss-C 欄の地盤のマイナスケース、こちらに対して、解析結果についてお示しているところでございますが、こちらの SC はなんですけれども、全部やってるうち一番ひずみが一番大きくなっているケース。
0:05:18	についてお示しているものでございます。先ほど店下の高浜の国家曲線なんかをご覧いただいてもなんですけれども、こちらの等価線形外貨逐次非線形外観また外挿範囲をどうするかというか、議論につきましては、ひずみが大きいこと、その差が大きく出るというふうに考えております。
0:05:36	今回そのひずみの一番大きい SSC はについて評価いたしましたけれどもそれでも優位な差は出なかった建屋ごとに有意な差がなかったというところが確認できましたので、これよりも小さいひずみのレベルほかの波につきましては、ひずみに対しては維持しなくてもこちらの SC はに対しての評価でもってこちらの傾向については掴めたものという
0:05:56	考えているところでございます。そう考えていきますと、下のほうで緑で囲っております、重大事故の評価を対象のものを 1.2 の SCC はなんですけれども、こちらにつきましては重大事故の地震動の中でひずみが一番大きいものになっておりますので、こちらは追加で今後提示をさせていただくというところで
0:06:14	ずっと説明させていただきたいというふうに考えてございます。またちょっと社内検討の話で恐縮なんですけど、津波のところこちらの Ss 指針案を今回の代

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	表にいたしましたけれども、社内検討ベースで急がばバランスが多いという か、
0:06:29	時刻もなくしてスペクトルとしてもいろんな周期のものかを持っているという、Ss -Aに対しても評価を実施社内のほうでしておりまして、その結果を見ましても こちらのsec湾で得られている有意な影響がないという結果で同じような結果 が得られているところですので、先ほど申しましたこちらのひずみが大いとい ころでやっているというところの裏はとっているところでございます。御説明につ きましては以上です。
0:06:56	規制庁タケダです。ありがとうございます。
0:06:59	それでは今説明いただいたマニュアルにつきまして規制庁側から過去にあり ましたらお願いいたします。
0:07:07	規制庁カミデです。まずこの資料の位置付けというか表紙で、
0:07:14	の説明後にもしたけど、今回ケースにあたり更新した箇所を以下の通りとい うことで、更新してない部分についてもう再振興図られているのか、何ここ積み 残し事項あるのかというその辺の
0:07:32	2回位ができないんですけど説明いただけますか。
0:07:41	日本ツガネのオガセでございます。積み残しの観点という意味でございます と、今、結論として今回反映した内容持つ踏まえて最終的に次起こしはない というふうに考えておりますというのも前回の審査会合でも御説明しておりま すけれども、今のところ我々として、地盤の入力地震動の算定において、
0:08:01	地盤モデルをまず設定してそのあとに入力地震動の算定方法について議論を するところの順番になっておりまして、マネージャの地盤モデルのほうに つきましては、きちんと直下のデータの方、ちゃんと使わせていただきますとい うところで、前回会合において、2点御説明しておりましてさらにこの資料に対 して反映済みになってございます。
0:08:20	前回の審議会合でもございました通り、現在、課題となっている入力地震動の 算定方法のところでございます。また我々として認識している課題 につきましては今回この資料の中にも連絡入れておりますので、入力地震動 の算定とあとすみませんその前の地盤モデルのところのこの資料の中では積 み残しはないという認識でございます。以上です。
0:08:50	規制庁カミデです。本件その積み残しないう点で規制庁が起こら何かの 認識違い等あれば確認いただければと思います。
0:09:09	規制庁のキシノです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:14	この資料でいくと 12 ページにですね、4 ポツに第 2 回申請以降の対象施設における地盤モデルの説明があって、こちらは二つ前のRev-7 ですかね、8 月半ばに記載の内容からずっと更新されていないんですけども、
0:09:31	これに関連して今週、面談の値段可否の申し出があったように聞いておりますけれども、それらを踏まえて今後、この 12 ページに記載っていうのは更新されていくという理解でよろしいでしょうか。
0:09:47	引き続き、
0:09:48	はい、日本フェルトはしてございます先ほど、その部分に関しましては次の保証はないというような形なんですけども規制庁さんの御指摘の通りの部分でございましてこの部分に関しましては第 2 回申請以降の部分、今週末に少しメンバーの方に記載させていただいてっていうところがございますので、
0:10:05	そういったところを含めましてこの部分に関しましてはちょっと次回に向けてたところは反映のほうは必要だというふうに考えてございます。
0:10:16	ちょっとキシノSIわかりました。確認したかったのはそれだけです。以上です。
0:10:26	規制庁カミデです。
0:10:29	ほかなければ、今回メインの検証部分の話を聞きたいと思えますけど。
0:10:37	本文部分だと 10 ページにあるんですが詳しいところで言うと御説明あったように 30
0:10:47	ページのところですかね、考え方が、
0:10:52	健勝こういふことでありますよってことなんですけど、
0:10:56	ちょっと最初に確認しますけど、これってどういう目的でやってるのかっていうのを、
0:11:02	もう、もう一度説明いただけますか、ちょっと簡潔に。
0:11:07	はい、日本原燃のオガセでございます目的を簡潔に御説明いたしますと、我々がつか現状使っている手法である 10 日設計線形解析、これにおいて課題二つありますという所ひずみが大いところでした、それそもそも等価線形解析を使っているか、また外層範囲があるっていうところに対してそのまま使っているかというところ、
0:11:27	課題があります。これに対して現状の手法を用いて耐震性地震動入力地震動算定して地震応答解析を実施することでこれに問題がないかという観点で逐次非線形等の表は逐次非線形解析という詳細な解析によって、
0:11:44	適用説明ですが、そちらについて確認をするというのが目的になっております。
0:11:51	規制庁カミデです。ちょっと私の認識等、
0:11:56	合ってるのかどうかっていうところなんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:00	目的は、今回の設計で使う入力地震動をの確からしさを説明するっていうそこなんじゃないかと思っていて、今回の入力地震動って逐次、
0:12:17	非線型和の等価線形でありますと、ひずみは大きいけど等高線業務適用できるとさらには外層の物性値も使うんだけど問題ないと、それはすべて、今回の設計で使う入力地震動の確からしさを説明したいっていうか、そういうことだと理解してます。
0:12:37	けど認識合ってますか。日本原燃のオガセでございますカミデさんのおっしゃる認識でこちらとしても同じだというふうに考えております。
0:12:49	規制庁カミデですそのときに、この 35 ページの(2)の確認方法で、
0:12:57	2 パラ目で比較対象とする業務、これ 10 日等逐次で
0:13:05	評価しますっていう、企画しますって言ってるんですけど、これケース①だっって言ってる結局パラメータを振ってるやつで、
0:13:14	評価するって言ってるんですけど。
0:13:17	最初の目的からするとですね、今回の入力地震動の確からしさっていう意味だと。
0:13:25	入力地震動に使った物性値で、
0:13:30	等価線形等逐条等やってその結果をしてみるっていうことなんじゃないかと思えますけど、違いますかね。
0:13:39	日本原燃のオガセでございますすみませんちょっと説明をはしょったので申し訳ないですけどですね、現状をこちらで記載しておりますケース①-38 ページで言います国家曲線を赤い線のところでございますけれども、これというのがまさしく
0:13:55	先ほどカミデさんがおっしゃった地場時 0 も床のひずみ依存特性曲線これと同じものを意味しているというところがございますので、同じ条件、現状外層なり、もしくは 1%を超えてるなりで使っている時地場値 0 曲線を同じ意味を持つ曲線として同じ条件で等価線形と逐次線形を、
0:14:15	食べているというのが、こちらの課題 1 で書いてる近くのことでございます。
0:14:22	規制庁カミデです。5 割り増しということをちょっとおわかりわかりにくかったので読み間違えたのかもしれないんですけど、38 ページの赤線が、これケース 1 とは言っているものの、その表は設計ケース、基本ケース、そんな名前と呼べるような代物だということよろしいんですか。
0:14:43	はい、日本原燃のオガセです。おっしゃる通りの認識でございます。
0:15:07	規制庁※図を掘りまして、ちょっと
0:15:10	わかりにくいところからケース 1 って言っちゃうと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:16	影響評価の感じもするし、もしくはその括弧書きのところ、設計のケースですってわかるようにしてもらってことなのかもしれないですけど。
0:15:27	もう少し説明をわかりやすくしてもらえればいいかと思しますので、よろしく願います。
0:15:34	日本原燃のオガセでございますかしまりましたちょっと名前つけ方がいかにパラスタケースのように見えますのでちょっとわかりやすいような基本的なケースというのがわかるようなところにさせていただきます。一応説明といたしましては 37 ページの真ん中の具体的にはというようなところで文章でも書いているんですがちょっとその名前つけ方とのところをちゃんと考えて記載のほうを改めさせていただきます。
0:15:57	はい、規制庁カミデです。あと 35 ページの次の課題 2 のところでもパラスタをしているんですけど。
0:16:08	これは逐次非線形でやっておりますという話なんですけど。
0:16:14	これも設計のケースっていうのは等価線形解析で、
0:16:22	この物性値を使ってっていう話なので、等価線形等価線形でパラメータを振らないと結局設計で使ってる並みの検証にならないんじゃないかなと。その方が直接的に説明できるんじゃないかと。
0:16:38	思いますけどその点いかがですか。
0:16:41	はい、日本原燃のオガセです。現状の考え方をいたしまして、今回カミデさん御認識の通りこちらケース①から③までというのは逐次非線形解析で実施しているところでございます。ただですけれども、こちらの逐次非線形解析でパラスタを実施したというところで明日したとしてもですけれども、
0:16:58	実際にこの地盤のせん断ひずみというのはやはり 1%を超えてくるということが予想されます。またこういったひずみは大きいところの評価というところでは確認課題の 1 のところの確認でも書いております通り、逐次非線形解析のほうかららしいというか、きちんと時々刻々の非線形の影響見れるというところですので、
0:17:18	今回の評価パラスタというところの観点で、やはりひずみの大きいところの評価がどれぐらい変わるかというところの話だと思いますので、このパラスタに関しましても逐次非線形解析実施するというのが妥当というふうに考えてございます結果としてなんですけれども、こちらの最後の立上り露頭なんかをご覧いただければなんですけど傷 123 でほとんど変わらないですかね。
0:17:38	等価線形解析についてはそれらを結果というところですのでいずれのケースに対しても問題はないということが確認できているところでございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:50	規制庁カミデです。今の御説明だとパラスタをするにあたって今回の地盤を結構ひずみ大きいから 10 日じゃなくて逐次、
0:18:02	で見るのがふさわしいと思いましたってそういうことですか。
0:18:06	日本原燃オガセおっしゃる通りです。
0:18:10	規制庁カミデです。それが何で入力地震動等価でやってるんだってという話にまた戻ってしまって、ちょっと流れがよくないんじゃないかと思えますけどいかがですか。
0:18:25	日本原燃のオガセでございます。ちょっとすいません、御説明させていただきますと、まず逐次非線形解析で今回は逐次と等価を比較するということで、これを実施いたしますときは逐次と等価線形を比較する理由といたしましては、逐次非線形解析のほうがある程度ませまあ最もらしいというようなところ。
0:18:45	その結果だと解析だと思しますのでそれに対して実施するというところがございます。これに対しても等価線形解析は変わらないというところはいえるというところがございますので、さらにこちらについては逐次のほうばらつき使わせても最終的に関わる結果は変わらないとか線形解析が同じというところで変わりませんので、
0:19:03	初めに申しました等価線形解析で出している入力地震動、これが最もらしいものだということがいえるというところでああの際、繰り返しになりますが、最終的な等価線形解析に用いていることに問題はないというふうな地形決帰結になるというふうに考えております。
0:19:20	あと規制庁カミデです。少したらればの話をして頭の整理をと思えますけど、今回課題 2 でやってみると、パラスターの結果っていうのはほぼ同じようなところにプロットされて下がらないねっていうことがわかったのでいいんですけど。
0:19:37	例えばこういうケース②がすごい飛び出ているとか、ケース 3 が飛び出てますねっていう結果が出たときに、日本原燃としては、
0:19:47	それをありますから入力地震動にするとか、逐次に逐次で流すんですか、それともやっぱり等価であるんですかっていうところがやっぱりよくわからないんですけど、その辺いかがですか。
0:20:00	日本原燃のオガセでございますが今回ほとんど差がないという結果になってございますけれども、仮の話をしてしまっても、仮にこちらのケース①②③というところが差が出てしまったといったときには、やはりこのひずみ全特性の外装部分をするそのまま使うのは、NGなんじゃないかというようなところの判断に至りますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:19	そういうそれを反映したような評価のほうに移るといふふうに考えてございますからこれタイマーの帰らなかったというところがございますのでそのまま使うことに問題はないというふうに判断したところです。
0:20:31	規制庁カミデですちょっと直接お答えいただけなかったですけども、いずれにしてもですね
0:20:39	この話をするのであれば、こういう話になってしまうので、等価線形でケース②③親振ってみてですね、実際どうかっていうところを説明するとこんな疑念も話もしなくて、
0:20:54	いいと思いますので、その点、解析的にもそんな大変ではないんじゃないかと推察しますけど、いかがですか。
0:21:11	まだないというふうにはどうしてございます。俺、今回検討としましてはちょっとひずみ大きいといったところがございましてももとのところがその1%を超えている中での等価線形解析の影響度は一度ところを見るといったところがございましたので、
0:21:27	ドップラSTAR一部分に対しましてその部分で、その影響度がどの程度あるのかっていったところを把握する上です、やはり逐次非線形解析で見たほうがよろしいんじゃないかという形のほうで今回の資料としましては、全体的にその1%を超えているものに対して、
0:21:45	園芸特性をそれぞれに置いている逐次非線形解析で影響を見たといったところが今回見たかったところの趣旨になってございます。ハセガワカミデさんからのパラSTAR-1の中のもう少しばらつかせた範囲においてのその等価線形解析といったところの
0:22:06	どの程度の影響なのかっていったところをですね影響確認みたいな形のほうで少しもう一つのパラスタみたいな形で見ていくといったところは否定するものではないんですけども資料的にまとめるものとしてはやはりこの逐次で求めておいたほうがよろしいんじゃないかなっていうふうに私どもとしては思っているところでございます。
0:22:33	規制庁カミデです。
0:22:37	ちょっと今言われた内容があまり理解できなくて普通に資料を用意を一つの検討の内容としてですね、今論点となっている。
0:22:47	ものの、
0:22:49	内容として資料に反映していただいてきちんと考察をしてきていただくのがふさわしいかと思っておりますけど。
0:22:56	そういった対応が難しいってことなんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:04	九州電力の赤司でございます。横から口を挟んで申し訳ございません。これちょっと本文推察ですけれども、原燃さんが一ツ悩んでるんであろうところを申し上げると、指定等価線形解析のほう、
0:23:21	のものを規制なりを振ってやると、おそらくやっぱり皿ページ選挙と同じようにそんなに変わらない結果今なるだろうと思うんですけども、パラメタ振ってる以上、現行設計に用いてる等価線形の結果よりも大きくなる部分が出てきたリリースする。
0:23:40	だろうというふうにこれも想定される場所です。そうすると、パラメータ振った結果として大きく出てきたので、時設計と施設そっちを採用すべきではないかと、そんな話になっちゃうんじゃないかということ、でそこをどうというロジックだとするかって言うところ。
0:23:57	大手おそらく原燃さんの方、懸念するんじゃないかというふうにならざる推察をいたします。
0:24:05	さらにちょっと長くなって申しわけございません。私が軽減に解釈してることをちょっと補足させていただくと、まず、何で逐次非線形をやってるかという、いう等価線形解析適用はもう解析の初めからいいよと。
0:24:22	合成を落としてその物性で総合性で計算するわけですけども、逐次非線形は時々刻々追いかけてながら、徐々に剛性が低下してくるさまを模擬しながら、解析をしてきますので、これ当初の目的に照らした入力地震動としてどっちが確からしいの。
0:24:41	どっちが正解かはこれ多分、判断が難しいと思いますけどどっちが確からしいかって言ったらやっぱり時々刻々追いかけるで逐次非線形の方がより良い成果 1 には、近いというかそっちの方向に向かっているんじゃないかというふうに考えられる。
0:24:58	で、その結果を見てみると、今日受けさせていただいた昨日御議論いただいている資料の例えば 41 ページの通り、双方増もほぼ変わらないんだけどこれはすみません、私の見方かもしれませんが、どっちかという、等価線形解析のほうが大きめに出ると。
0:25:13	だから、円だから等価線形解析を設計として用いての大丈夫なんだろうなというのがここでまず見れるところで当該ながらでなんでと逐次非線形のほうのパラメータを振ってるかという、
0:25:28	今、私の解釈ではあるかもしれませんが、等価線形のほうが若干大きめに、てと言いつつながら、1 時々刻々動いかけてるより高く確からしいだろうとか経営逐次非線形のほうのパラメータを振ってみたらこれ、火線強度を大きく超えちゃうみたいになっちゃうと、そもそも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:47	一番最初の組織が崩れますのでそんなことないっていうのをして蓄積逐次非線形パラメータを振ってみたけども、ほぼ変わらない。やっぱり等価線形解析のほうがちとですけども大きめに出るというふうな流れは変わらないので、
0:26:04	とすると、当初の目的に照らした確からしさという観点では、おそらく等価線形から見た逐次非線形のほうになるんだらうけども、設計に用いるものをどうするのっていうで等価線形の方がきちとを決めれば継ぎ手ではあるけど、決めなどでそっちを用いるという判断ではないかと。
0:26:25	というような流れでやってるものと理解しております。ここでまた話がもとに戻りますけれども、そういう判断をしてる中で、等価線形を振ってみて大きくなったり小さくなったりが出てくると、じゃあボリュームというところになっちゃうので、サトウ消火ということで、おそらく県連散見されてるのではないかとというふうに
0:26:43	推察するところでございます。以上でございます。
0:26:53	規制庁カミデです。私も同じような推察数をイメージをしながら話を聞いてるんですけど、推察だけで話をしてもしようがないので。今の話を受けとめて、日本原燃から何かある方をお願いします。
0:27:20	2国同士でございます。ちょっと赤いさんのほうに來いただきましてありがとうございます。ちょっと私どもとしての記念のところを少し明石さんの方からお話いただいたところで、この極端なケースっていったところで振っているものに対して、ちょっと有効性といったところがなかなか難しいところもあって、今、
0:27:40	さらに今どちらともですね非線形領域に入ってるっていったところで行くと、やはり逐次非線形例見といった方がですね、今回の課題といったところの二つの懸念のところはある程度見えてくるというふうに思っております。今そのものが等価線形解析の少し有効妥当性なのかっていったところがございますので、
0:27:59	そういった意味で行くと、このパラメータスタディに関しても逐次の結果といったところでですね見といたほうが、やはり今回の二つの課題に対してのアンサーとしてはわかりやすいんじゃないかといったところがございまして今回の資料に至っているといったところでございます。
0:28:19	規制庁カミデです。
0:28:22	その上でなんですけど、やはり当初の目的、これをするんですね、設計で用いている等価線形的手法に対して、改装しているもの方極端にですけどね。
0:28:38	振ってみた結果っていうことだして、その上で、技術的な考察をきちんと話をしてもらってっていうことは大事だし、やはりこの週で抜けてる部分だと思いますので、そのあたりは梁資料で書いてですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:56	結局、応答が国旗小さいてでしか判断できないっていうところもすごい問題だと思っ ていてんだ、なぜ応答で見ているんですかっていうところもこの資料ない んですよ。
0:29:10	そもそも何で応答で見ればいいのかっていうところも書きくださないからおか しくなっているんじゃないかと思っ ていて、一般的にその1%のひずみって いうものがどういう影響を与えるか というところがちゃんと話をし てですね、一般的に東電の ところで、
0:29:30	出るから音で見ればいいんです っていう話も抜けていると思っ てるんですけど。
0:29:37	いずれにしてもちゃんと ですね、
0:29:42	想定されるパラスタっていうの をやった結果、技術的にどう なんだっていうことをちゃんと 説明いただきたいと思っ てますけどいかがですか。
0:30:01	日本原燃のオガセでございます 今カミデとおっしゃって た中でまず一般的にヒエ ラルキーとということに はどういうことになるか、 入力地震動にどういう影 響を与えるかっていう ようなところにつきましては きちんと最初のところで 記載をさせていただき たいと思います。また 頼ま等価線形ベース でのパラスタにつ きましては、
0:30:18	やはりやはり1%を超える 状態への等価線形解析 になりますので結局の ところ課題1での課題 に戻ってしまう等価 線形解析がそもそも 適用できるかとい う、パラスタの中 でもその解析の中 に戻ってしまいます ので、ちょっと ちょっと設 言い方冷静 解析精度の観 点では ちょっと
0:30:35	どうなのっていうところの 彼ら残るものではあり ますが結果としては 見せることは可能 ですし、農政およ そ帰らないであ ろうというところ の見込みもある と思っ ておりますので、 そのよう なところで結果 のところにつ いては、
0:30:48	未整理しないでお示 するようにいた します。
0:30:54	規制庁カミデ です。
0:30:56	結果を出して いただい てということ を定員 ですけど 真に求 めてる のは 結果 が一 だけ 示さ れて あと は どう ぞご 確 認 く だ さ い で は な く て、 ち ゃ ん と 結 果 を 踏 ま え て、
0:31:12	どう考察するの かという考 え方を ち ゃ ん と 説 明 い た だ き た い と い う こ ろ で す の で、 そ の 点 も あ わ せ て き ち ん と 説 明 す る よ う に お 願 い し ま す。
0:31:21	日本原燃の積算も ち ろ ん 把 握 し て お り ま す そ の よ う に さ せ て い た だ き ま す。
0:31:27	規制庁ハバサキ です。先ほど 来の話で、 今回の 検討の 目的は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:34	このひずみ依存性等の影響ですね、入力に対してどう考えるかっていうところですねそれは県の方、今お子さんのそういう説明をしてたんですけれども、その回答がですね 40 ページの
0:31:48	下のスペクトル図しかないんですね、応答の比較っていうのは、先ほど来もありますけれども、これ、いろんなものがはまった結果でありまして、今回のその応答っていうのはバネ外してるわけですから、
0:32:02	非常にうやむやになっちゃってるわけで一番見たかったのは、40 ページの下の入力動の影響ですね。
0:32:09	ここをしっかりと考察をしてもらいたいっていうのが趣旨です。先ほどのその等価線形でも同じようなパラスタをやるのかも含めてですけれども、例えばここ、その考察って 39 ページに書いてあるんだけど、いずれも有意な差はない。
0:32:24	ていうだけの話になってるんですけども、例えばこれ、造成モリノの当協会グリー協会近くのところで、もう本当にそこはウノかとかですね、そういう話にもなり得るわけですよはここで私経験してたのは、
0:32:41	8%とかそういう世界でもとか線型だとか外傷なり活動っていうところなんです。
0:32:47	これ審査通した時にですね、ある意味独り歩きする可能性があるわけですので、今回のケースっていうのは、今その造成モリノの非線形化は提供しない範囲と考えられる基礎 1 基礎下位置の入力動
0:33:06	+Fを見ている要はFのところこそ、ひずみの突出した影響っていうのはそんなにないですよっていう話が非常にこれ徳洲会というして解かせんけどもいいですよとかですね、響い%が出てもいいですよ。
0:33:22	っていう、そういう解釈が入力に対して、ほぼ問題ないという形で危険結論づけられるというふうに予想してたんですけれども、応答がほぼ変わらないからいいですっていうのは、
0:33:37	非常に説明としてはですね問題があるといいますかですね、足りないというふうに思ってます、要は 40 ページの下の入力動についてももう少し細かくというか、詳細に考察をしてもらいたいと思ってます。
0:33:52	例えば等価線形の解析結果が短周期部分、一番大きくなってますけども、通常こういったひずみ依存性の話をですね等とかセンスけど逐次を比較すると。
0:34:08	一般論ですけれども、逐次のほうが短周期成分のほうが大きくなるだとかですね、そういう傾向見られてるんですけども今回の結果は等価線形のがオガセけども大きくなってますね、それはなぜとかですね、そういった話も含めてですね、ちょっとこの入力地震動の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:27	での影響という観点ではしっかりと講座等をしてもらいたいのでこう応答に関してはもうある意味付録的な位置付けになるんですね。
0:34:35	それをこちらとしては求めていましたとか求めたいと思いますので、ちょっと検討をしっかりとしてもらいたいと思います総じてすべての結果に対して公営否定的なものではないんですけども、ちょっと観点が違うかなと思ってます。
0:34:52	よろしいでしょうか。
0:34:56	日本原燃のオガセでございます。すいません。まずちょっとこそ1点補足させていただきますたくて47ページをちょっと開いていただけますでしょうか。ちょっとあの先ほどのハバサキ3をご覧になっていた入力動の応答スペクトルと離れたところにあるところで大変恐縮です。我々といたしましてもやはり建物への入力動巻き措置等今この
0:35:16	先ほどハバサキさんご覧になっていたスペクトルのところで比較しているところですが、これもやはりあまり変わらなかった。最終的には建屋応答に対して影響がなかったというところになってますけれども、これがどうしてこうなったのかというところの影響の考察というところはこちらにちょっと提示という仮称は設けさせていただいておりますので、ここでやはりハバサキさん先ほどおっしゃっています。
0:35:34	おりました通り下の形成非線形が起きたところの地震はてな結局基礎の基礎下に応答に対しての販社として影響がしてくるところがございませけれども、そこに対して反社としてはやはり等価線形解析でも、今回、
0:35:49	逐次非線形解析でも、いずれにせよ、神経が非線形化が大きく、結果としては剛性が、その上の方の地盤が落ちているので反射としては下にほとんど返ってきてない影響が小さかったというような考察をしているところでございます。ただ先ほどハバサキさんおっしゃってございました通り、一般的な人経過が起きるとこういうところが、
0:36:07	大きくなるんだけど、実際にはどうなぜかこういうふうに戻ってこなかったってというようなところの話も踏まえて、先ほどカミデさんからおっしゃっていただいたような現象論としてのこういうことが考えられるかというところを紐づけした上でちょっと考察のほうを追加させていただくというところに対応させていただきたいと思います。以上です。
0:36:25	規制庁ハバサキです。はい。あの一とか設計ですねそのパラスタの場合のどこ全系のケースの話も含めてですね、試掘坑説明のほうをお願いしたいと思います。以上です。
0:36:38	日本原燃のオガセです。かしこまりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	九州電力の赤司でございますすみませんまとまって入って申し訳ございません。1点、すみません私の方からもちょっと確認させていただければと思います。まず先ほど推察しておりますというようなことを申し上げて私も入り込んで支援してるのかわからず、
0:36:57	十分に入り切れずにして推察というような発言で、非常に申しわけございませんでした。今後の対応を整理すべき案件として改めて私も原電さんと一緒にEALの場合でも御出席いただいていることをしっかり理解して、
0:37:13	落とし込みしたいので五つに改めてちょっと確認させていただきたいんですけども先ほどハバサキさんのほうからありました。この8%、ような大ひずみでも、結局できるのかというすると、これが適用できるみたいな形で独り歩きしてしまうとそれはそれでよろしくないっていうことについて、
0:37:31	確かに私もその通りだと今改めて受けとめまして、これが例えば音大きい小さいの議論で言うと関係のほう聞いたらいいんですよみたいな結論になってしまうと等価線形が使えるんだって話になっちゃうので、そうではなくて、観点としては
0:37:48	今回の結果でも、どうパラメータをいじってもそんなに変化はないというのが見えてるんで、変化がないのがなぜなのかも一般的に理解されてると違うのはなぜか、それは一連の今回の施設の条件等に当てはめると、なるほどこれこれこういうことで、こういう事が起きてるのかという解釈は加えられれば、
0:38:08	今回はいろいろいろいろパラメータ振ってきたけども変化がないいいので。その変化がないことをもって、等価線形でやっても結局全体の影響はないだろうというふうにして結論を不確定考察することだったらそれはこの条件に照らしてということであって一般的な
0:38:28	ものではないということがしっかり把握できるように整理すべきということだというふうに受けとめました。以上、私の理解間違っておりますでしょうか。
0:38:38	規制庁の佐々木です。今の高橋さんのお話の通りです。
0:38:45	kPa建屋の条件、
0:38:49	だからという、或いは徳洲会みたいな形ですね、それを建てかっていうと、こういう埋め込み条件であったり、地盤条件だから、ふくそういう事は説明できるということになるわけなんで、符号しっかりと押さえないと。
0:39:07	一般解に理解されると非常にこれ大変なことになってしまうということになりますので、しっかりそこを区分けしてですね、資料のほうですね、準備をしてもらいたいというのが私の趣旨ですので先ほどタカハシさんの
0:39:23	大西の通りでよいというふうに考えます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:28	はい、期首電力の明石でございますどもありがとうございました。私も今回推察のような、まだちょっと中途半端な指導仕方でしたねしっかり原産国、
0:39:39	打ち合わせを検討した上で、官等しっかり行く末た上でまた検討が資料報告という議論をお願いできればと思います。ありがとうございます。
0:39:58	規制庁ハバサキですちなみにですけど先ほどピアといった 40 ページのところで、等価線形のスペクトルが短周期成分が一番大きい。
0:40:09	逐次非線形がそんなに大きく伸びないという理由っていうのはないか押さえられてますか。
0:40:17	はい、日本兵のオガセでございます既卒者の応答レベルとしてこういう結果になっているという大小関係の話になっていますけれども、実際の表層部分の利益をというのが、やはり求めて逐次でも等価線形でも強そうからの反射という観点ではそれほど、もともとの強度が小さかったというふうに考えております。
0:40:36	実際のこの地盤の深さ方向の加速度分布を見ますとある程度の支持地盤のところから若干のちょっとですけれども差が出ているというところがございます。これの影響といたしましてね等価線形解析公開の岩盤についても非線形性見た上で等価線形解析やっておりますけれども、
0:40:53	実際の逐次的に評価すると、岩盤というのはほとんど気づかない一緒の基準ですぐ戻るみたいなどころの解析になっているのに対しまして、等価線形解析である程度、今回のひずみ依存を見た上ではなんてすかねある程度ほんの少しでもあるんですけれども少しやわらかくなっているという状況が全時間続くというような解析になってますので、
0:41:11	次にレートが線形解析延ばして上の地盤のほうがやわらかいつまりあの増幅がちょっと大きく出るというようなそういうような傾向になっているものというふうに分析をしているところでございます。以上です。
0:41:23	規制庁、河原木です。今言われたようなことが考察になりますので、府考察を裏付ける何かエビデンスが示されるのが一番いいんですけれどもそこをでは求めないにしてもですね、今のような考察も含めて、入力動に対する影響という観点です。
0:41:42	しっかりまとめてもらいたいというふうに思います。まず先ほど 47 ページのほうにもそれは記載ありますっていうことだったんですけどもちょっと書く位置も含めてですね、ちょっとそこら辺を検討した方してもらいたいというふうに考えます。以上です。
0:41:59	はい翌年度してございます。ちょっと本日のヒアリングを通じまして教学指導も建家をとかです。ねそういったところに少し走ったところがございましてやはり今

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	回あの見べきところといったところのハバサキのサトウの御指摘のところやはり有力しんの字タジリどうなのかっていったところも思いますので、
0:42:16	ちょっとこちらのほうの入力地震動といったところに対してしっかり考察のほうを深めるといったところと、あと先ほど江藤委員さんからの御ございましたちょっと極端なケースにおける黒線解析に関しましても入力振動といったところでしかちょっと考察のほうから見ていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いたします。
0:42:50	規制庁ハバサキですとちょっと観点違う話で説明はしてもらいたいところがあるんです 47 から 48 ページ。
0:42:59	両括弧 3 のところですね、これは会合ではなくて福本理事からのヒアリングのときに確か確認を求めたものだと思うんですが要はそのえっとマイナスの
0:43:14	48 ページのひずみの分布を見てマイナスのケースに比べると、そうですねマイナスの値と最大ひずみの発生値が造成モリノの拡大とかターン境界位置ではない位置に発生している理由について説明を求めたんですが、
0:43:33	込量格差に文章書いてあるんですがちょっとここもう少しわかりやすく説明してもらえませんか。
0:43:40	日本原燃のオガセでございます冒頭に御説明すべきでしたこちらのオオオカの資料のところのヒアリングでこちらの最大のひずみが出てくる深さがちょっと違うというこのSs-し、紫波もマイナスσでだけそういうふうなのが出てくるというところの考察をこの資料の中で追加したところでございますたらそちらまで説明が抜けていたところ申しわけございません。
0:44:00	こちらの内容といたしまして考察といたしましては 50 ページをちょっとご覧いただければと思うんですけれども、
0:44:07	50.3 のところでグラフ二つ書いているところです。下の方がこれを開放基盤でのSSC湾の落とすでフリーのスペクトルでございます、つまりこのSC湾のコーナーの持つる特性というようなところだと思っていただければと思います。これに対して、上のところのカラフルな伝達関数を書いているところでございますけれども、
0:44:26	こちら側のこの伊勢市はマイナスσでの等価線形解析における伝達関数というところでちょっと 49 ページながらどの深さの分布全体のところで、緑とか赤とか青とか黒の線を深さごとに聞いているところでございますけれども、
0:44:42	基本的にこちらすみません、伝達関数の方向 10 ページに戻っていただきまして、基本的に地盤というのはやはり一時的な挙動する、これが何でかっていう何かといいますと、黒の線と青線の伝達関数を見ますけど見ますと、やはりこ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の地盤のこの制度上のほうではこの一次的な挙動というのが卓越するというのが普通なところだということをございます。
0:45:02	けれども、今回のこのマイナスの自分の地盤でのSSCは収束物性では、こちらのこの赤と緑の伝達関数へ見ていただきますとなんですが地盤も、2Gだとは思いますが、工事は制度のところは伝達関数として卓越するというようなそういった地盤の傾向になっていると。
0:45:20	というのが考えられます。これに対しまして下の先ほどご紹介しました解放基盤での S_s-C はふり見てみますと、こちらのこの地盤の西の周期兄工事の周期のところとぴたっと合っているようなところになっておりますので、この S_s を指針案のマイナスの
0:45:37	地震は、この地盤に対してのところではいきますと、この6ヶ所層のところは1自主一時の振動とよりも工事の振動を示しているというようなところが考えられます。これによりまして、人ハラダの考えでいきますと、この6ヶ所のパターンが複数になったというようなイメージを持っていただければと思うんですが、
0:45:56	そういった振動を起こしたことで結果的にこのような真ん中にハラダが出てくるようなひずみが真ん中に出てくるようなところの傾向になったというふうに考察しているところをございます。以上です。
0:46:07	規制庁川崎です今の説明は理解しました。そうすると、例えば48ページ静水に関しては、今のような60.6秒ぐらいのところはOSLに関しては大間12の固有周期に相当するようなものが出てこない。
0:46:28	モデルのデット地盤物性になってるってということになるのか或いは今回の資料40ページ40ページ見ると、等価線形と逐次非線形でもひずみの分布、最大値の出る位置も変わってくるんですけども。
0:46:45	これも今の説明で洞道のような6秒付近の逆せん断ボードが発生するっていうことでそれ以外で性とか、逐次非線形にすると、
0:47:00	モードが出てこないからっていうふうに理解することになるわけですか。
0:47:05	日本原燃のオガセでございます。おっしゃる通りのご理解かというふうに思っております。まず特にこの逐次先ほどの40ページの等価線形と逐次非線形の差のところでお話しますと、今回の等価線形解析でやるところ真ん中の層が歪が大きくなるというところですけども、やはり等価線形解析というのはずっと全時間の同じ地盤物性値
0:47:25	を考慮した上で線形で回すということですので、先ほどの伝達関数にあるような工事のピークというのが常に工程っ放しになっているというか、治療に出るというような所一方で逐次非線形解析を構成も都度都度で変動いたしますの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、ここまでなんていうんですかね単独のピークが立ち上がるということも考えられませんか、
0:47:43	工事モードの影響度っていう観点ではやはり等価線形解析のほうが、こういうのが出やすいというところが考えられます。実はやはり逐次非線形解析ではこういうのが出なかったほかの内容につきましても同じような形でございます、やはりこのSs-Cワンというのが高次成分のここにぴたっと当たるようなところの波もあったというところの話ですので、
0:48:02	この地盤隣の組み合わせがたまたまこのSGはマイナスの地盤というところであったというところの観点だというふうに考えてございます。以上です。
0:48:12	規制庁川崎です。はい、説明よく理解しました。そういった考察説明報告の資料にもやはり記載してもらいたいというふうに考えますが、
0:48:25	よろしいですか。
0:48:27	日本原燃のオガセでございますかここにありまして、今申し上げたようなところをきちんと文章のほうに記載して考察のほうに加えさせていただきます。
0:48:36	はい、規制庁だけです。これ先ほどひずみの大きい話とも関連しますのですかね、しっかり記載のほうをお願いしたいと思います。私からは以上になります。
0:48:55	規制庁の土野です。これちょっと処方的な質問になっちゃうかもしれないんですけども、今回逐次非線形解析Bとの比較でもって今回の等価線形解析に基づく設計はまあ問題ないよっていう説明しようとしているわけなんです、
0:49:14	専売設備として最大で8%も出ているもので、等価線形解析に適用できる範囲もあるかに超えているというところが出発点の一つかと思うんですけど、それに対するかわる手段として逐次非線形解析を持ち込んでるわけですから、
0:49:33	逐次非線形解析を特区に何%までのひずみに適用できるとかいった適用をする町の制約条件っていうのはないということによかったでしょうか。
0:49:46	日本人のオガセでございます。既往の文献等で逐次非線形解析に対して、何%まで適用できるひずみの上限といったものについてはございません。やはりこちらも設定している国家曲線こちらをきちんと設定さしていれば来解析上は問題ないというふうに考えてございます。
0:50:04	す。
0:50:05	それともキシノですはいことは逐次非線形解析というのはきょくどうの進出にはもう70%出ていっても
0:50:13	適用して差し支えないものというふうに理解してよろしいわけですか。
0:50:19	日本原燃のオガセすみません70%という量はすみません私もちょっと見たことがないので、その適用例があるかという観点ではちょっとすみません明確な答えは持っていないところでございますけれども、少なくとも我々が設定する

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	子し徹底している国家曲線につきましては、その辺りのひずみまできちんと考えられたものになっているというふうに考えているところでございます。
0:50:40	一つの機能です効率もしたちよつとこんな変な質問だったかもしれないんですけど、聞きたいのが以前のヒアリングです、どうしてこういう
0:50:55	ことを気づかなかったのみたいなやりとりをさせていただいた中でですね、サッカーのご発言がちょっと忘れちゃったけどひずみ待とうじゃ7%という説明でしたけどな%ちょっと大き過ぎるし逐次非線形でやってもあまり効果がないというようなこと。
0:51:11	御説明あったのちよつと記憶してまして、今回ですね。そういったこと等、特に触れずに逐次非線形主適用して問題ありませんでしたっていう説明になっちゃっているんで、トリーその適用性とか、
0:51:27	こういった手法とのことについて何らから追加説明があるのかなと思ったんですけども、特にそういった追加説明は必要なく適用するにあたっては何ら問題がないっていうそういう見解であるというふうに理解して欲しかったですか。
0:51:43	日本原燃のオガセでございます。今までのヒアリングで口頭でお答えした範囲で等価線形解析の段階ですでにひずみがアートひずみが進んで剛性が落ち切っているというところの御説明を、確かにいたしました。そちらにつきましては、実際そのまま仮設といいますかこういう地盤のひずみが進んでいるときにはこういう状況ですというところ。
0:52:03	35 ページをすいません。真ん中辺ですね燃料加工建屋の地盤の等価線形解析にあたってはというところの段落でちよつと記載をさせていただいてございますので、こちらに書いている通り後前踏まえのヒアリングでも口頭で御説明させていただきました通り、
0:52:21	実際の合成でガーン地盤のこの歪のひずみというかご指摘経過の説明というところで行きますとすぐに落ち切っているというところでこれというのはまさしく30 すいません行ったり来たりで38 ページをちよつとご覧いただきたいんですけども、
0:52:35	38 ページのこの骨格曲線で書いているところの1%以上のところについてはやはりすでにまあそこそこ降伏する赤線の時点ですべてしまっているというところがありますので、こうこういうことでまさしく申し上げておりましたすでに構成としてはすでに非線形が
0:52:51	田力って言ってここから何かを変えたとしてもそこには手話の物性値としては大きく変わるものではないというところの御説明をしていたところでござ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いますから、これに対してじゃあ本当にここに対しての線形解析でいいのかというところを今回の逐次的な評価のところ
0:53:08	なんですかね比較のほうさせていただいたというところも位置付けになってございます。以上です。
0:53:14	別件のキシノです。ちょっとわかっているのはわからないという状況なんですけれども今の御説明はもうネットひずみの1%を超えて合成ももをほぼほぼもう下がり切ったとこいっばいあるので、ちょっとこういう条件で逐次非線形
0:53:31	経営をやってもええと等価線形等も差がないよっていうことを前しっかりヒアリングとかでご発言されたというそういう趣旨の説明ということだとか、日本原燃のオガセさんのおっしゃる通りの趣旨でございますというふうに見込みがあるもの見込まれるというような意図で発言をいたしました。
0:53:51	はい、わかりました。一応これまでの御説明との整合性は一応繋がったかなと思います。ありがとうございます。それと、もう1点、47ページ48ページの考察についてはこれまでハバサキカミデからもいろいろとありましたので、今後ちゃんと見直されるんだろうなというふう
0:54:11	思いますそれからお話戻るんですが、今ここで書かれている考察というのは、先ほど阿久津さんから御説明でも今回回答に与える影響を見たところの問題なかった。その結果が得られたのは、これこれこういう理由になるだろうというによるものだろうという説明としての位置付け、
0:54:31	いう方で理解したんですけれども、ここに書かれている考察っていうのは、
0:54:40	得られた結果に対する詰まっすいませんちょっと言い方悪いんですけど、得られた結果に対する後付の説明のようにもちょっと予備によって思えてですね、ここに書いてある考察が正しいか確かからさってというのは何らかの形で確認をされた上で、このように書かれているのか。
0:54:59	それとまだそこまで深掘りをしていないのか、それはそうなんでしょうか。
0:55:05	はい、よろしいですか。ちょっとすみませんあの1回社名補正はありますので、一度毎月やっていただきます。
0:55:23	はい。
0:55:26	日本語のオガセですお待たせしてしまいまして申し訳ございません。こちらで記載している考察につきましては、(3)につきましてはおっしゃる通りとの結果から見てとしてこうなったんだろうというアプローチをしたものでございます。ただ(1)と(2)今回逐次非線形解析なりをやった結果というところに対しての
0:55:44	考察につきましては、もともと設定していた骨格曲線ですとか、あと表層がすでに東端扇形の段階でひずんでいたことっていうようなところを踏まえますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	やはり仮説としてはあったところでございます。これはやはり結果として、同じような仮設道路のところの結果が得られたので、そちらについて
0:56:03	結果を踏まえて考察のほうを記載したというような位置付けで記載をしてございます。
0:56:08	それと、Ssをはいわかりました。おそらく(1)(2)っていうのは今もともと想定してた部分の結果が得られたっていうようなことになってくれたのかなというようなことだと思いますので、ここに書かれてることっていうのは、
0:56:26	今回の燃料加工建屋周辺の地盤状況検知層厚性ですとか物性値とか、或いは建物との相互作用とかなんかを踏まえると、こういうふうに出て当然と言えば当然というようなそういう形をしているっていうふうに理解してよろしいでしょうか。
0:56:44	日本原燃のオガセ、おっしゃる通りでございます。今回のこの燃料加工建屋の地盤に対してというところ限定的な話になりますが、そういったところの性状を踏まえるとこういった仮設が与えられてこういった考察ができるというようなそういった位置付けでございます。
0:56:59	普通のキシノです。
0:57:02	御説明の趣旨をわかってきました。この考察で肉付けをして数ページ後の結論ですかね、まとめのところに書かれている結論は結びつくのかなと思いたので、
0:57:17	ちょっとですね先ほどまでのやりとりも踏まえて多分見直すされると思うんですけども、結論の結びつきとしてこの考察がどう繋がっていくのかっていうのをちょっと意識してですね、御説明の航路
0:57:30	イトウ添付していただければと思います。負担でしょうか。
0:57:35	日本原燃の精査のおっしゃっていることを理解いたしました。これまでいただいているコメント現象論に対してどうですか、この地盤の特徴に対してどうですってというようなところの話を踏まえた上で考察を組みまして、その上で、まとめのほうに繋がるように文章のほうを作らせていただいた文章とこの。
0:57:51	竜巻隊の方へ拡充させていただきます。以上です。
0:57:56	続きキシノですはいよろしく願います。あと、すいませんこの周辺のページ、例えば41ページ以降についてちょっと些末なことではあるんですが、
0:58:06	次の10ページから46ページですね、今回の検討結果の比較図が載っていて、一応、等価線形と逐次の三つのケースを入れて4ケースの曲線がそれぞれの図に持っていると思うんですけども。
0:58:23	各図見ても、二つの曲線にしかも見えなくて重なっちゃってるんですが、これ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:33	確認結果の文章との対応をとる上でもお願いなんですけど、各ずにですね、この曲線を例えばケース 1 とケースで、こちらは 10 日とケース 3 ですとかいうような
0:58:46	その線を引っ張って 3 ケースばどの結果なのかということにしていただけないでしょうか。
0:58:52	ちょっと、
0:59:02	日本原燃の橋でございます。ちょっと今伺ったことを踏まえていくイメージですかというのをちょっとすいません 1 を確認させていただきたいです。例えば 43 ページの最大応答せん断力の図なんかをちょっとご覧いただければなんですけど右上のこれのこの赤と緑と青が重なっているところに矢じり
0:59:22	C というかお 3 本引いてそこにケース 1 箱ケースにおいては個々ケース 3 はここというのが同じ場所にいますよというのがちゃんと矢印でわかるように、一方でとか 1009 解析の黒線のところに矢印を引いてここにケース等価線形解析がありますよとわかるようなそういうような吹き出しというか、矢印をつけるといようなそういうような認識でよろしいでしょうか。
0:59:42	既設の基準図は、そんなイメージで結構です。
0:59:46	どこにどのケースが紛れ込んでるのかっていうのは全然わからないのでそれを明確にしていただけるとちょっと教えていただければという趣旨でやり方を任せいたしますが、この辺泥縄窃取し、またやり方。理解いたしましたそのように対応させていただきますし、日本のいたします。
1:00:02	あとすいません、最後に 1 点でちょっとページが戻っちゃって申し訳ないんですが、9 ページにですね、一番下に下線の引かれた文章が今回こうあっておりまして、ちょっとこの記載の意味がよくわからないので教えていただきたいんですけれども、
1:00:19	地質構造が同様に、同様なエリアにおける云々っていう説明があつて、と地質構造が同様なエリアっていうのは答えて金なの観点で同様と判断するのか、それと、例えば今回申請の 4B でしたら中央地盤の変ですけども。
1:00:38	地質構造が同様という観点で、ほかのエリア、東側地盤のほうを選ぶというようにもあり得るということをごここで言ってるのかそのあたり教えていただけますか。
1:00:50	また、日本原燃のオガセ室の申し訳ありませんまたちょっと社内構想がありますので、1 回切らせていただきます。
1:01:01	。
1:01:03	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:12	日本人のオガセ再編型折衝てましてまたたびたびなっしまい大変恐縮ですが、こちらで申し上げます。地質構造が同様なエリアというのはやはりまず岩種は同じようなものが出んとしているということがその層相が大体一緒ですよというところを確認するというのが趣旨だと思っております。
1:01:29	はい同じ監視はいたとしてもその維持している深さがやっぱり違うところにありますとやはりそれを参照するというのはちょっと違うというところの考えがあるというのがイトウでございます。今回追加させていただいた資料のところではいきますと冷却塔のところ、
1:01:45	図を追加させていただきましたけれども 76 ページ 77 ページでしょうか。はいというところでございますけれども、
1:01:55	まさにこれが地質と地質構造としては同様というふうに見れるというところをちょっと他のエリアをちょっと書いていないのでちょっと恐縮なんですけれども、こちらの薄紫と紫の地層がこの順番で並んでいるというところではいまして、それ以下ときにはこの冷却塔のところとその周りの地盤というのが同じところはみなせるというふうを考えており、
1:02:15	これは広がっているのはこの中央地盤のエリアっていうところになってまして。
1:02:22	はい。
1:02:23	例えばなんですけれども、今現在、こちらの冷却塔の日基礎というところで真下にあるところなんですけれども、それよりも北側のほうにある非常用電源建屋の辺り、そういったところでもこの地盤の層序というのは上が薄くてしたらというような議論になっているというところ。
1:02:42	また次のすいません 77 ページの下をご覧くださいければと思うんですけれども、こちらについても同様なことは言えまして、ちょっとこちら中の右側のキープランなんかを見ていただければと思うんですけれどもボリュームの田中山が得られているところですね、投資。
1:02:57	これはここの排気ガス固化建屋のところですか、使用済み燃料受け入れ貯蔵建屋といったところでも同じような地盤の傾向が見受けられますので、この地盤の岩種後は層序のところと同じエリアというところで見っていくというのが、まずは基本的にこのばらつきを見る上で参照するデータの選び方というふうを考えているところでございます。以上です。
1:03:19	はい。
1:03:21	シミズ等の新ベースの御説明をありがとうございます。同様なエリアの見方っていうのは今ご説明あった通りかなと思うんですけれども、当冷却塔については当然ながら、どういう考え方をするのかってのはこれまで説明して理解してるつもりなんです、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:39	その他の施設次回以降ですね同じ中央地盤ではなくて他のエリアのものを採用することもあり得るということをごここではやってるってということなんでしょうか。
1:03:56	すいませんちょっと質問の意図がわかりましたので
1:04:00	ここで、この文章を素直に読むと治療地盤の施設であろうと東側地盤西側地盤の物性のばらつきを採用することもありえるというふうに読めたんですけれども、そういったことを説明しているという理解でよろしかったでしょうか。
1:04:13	日本原燃のオガセでございます。まずかつ正当な将来的なところの可能性の意味でいきますとこの中央だけれども西側東側を見るというふうなところはないうふうに考えておりますというのも先ほど申し上げました地質構造監視の部分というのとあと層序につきましてはまさにこの中央地盤西側。
1:04:33	一番東側地盤程度の不安想定普通断層で規定された範囲内で全く違うような傾向というふうにいえると考えております。ですのでやはり中央地盤の中で見ていくのが妥当だというふうに考えますし、西垣それぞれのところで見えていくのが妥当というふうに考えておりますので、地質がそもそも類似していない中でそういった跨ぐというような落ちの方はして、
1:04:53	がないというふうに考えております。以上です。
1:04:56	一つの注水わかりましたありがとうございます。当然ですねエリアっていう言葉を使うときに中央地盤とか東側地盤をそれぞれのエリアに分けてっていうような言い方をしたので、ちょっとエリアに跨るような判断も今後入ってくるのかなというふうに思ったんで切ったものです。
1:05:14	ですのでちょっとそこら辺をですね、同様なエリアの考え方も含めてちょっと説明のほうをしっかりとしておいていただければと思いますが、現時点でですね、どこまで固まっているかということも踏まえたあまり書けないということであればですね誤解のないようにちょっと
1:05:31	例えば幅広にとらえられるような上限にするとかして記載のほう適正化をお願いしたいと思いますでしょうか。
1:05:39	日本原燃のオガセでございますかしまりましたただいまの御趣旨踏まえて記載のほう適正化させていただきます。
1:05:46	お願いします。以上になります。
1:05:51	規制庁の武田です。
1:05:53	37 ページ 8 ページあたりですけど確認させていただきたいんですけど、
1:06:00	今回逐次線形解析に当たって土の非線形特性を設定されていると思うんですけど、この避難計画改定後一般的な変わるをモデルとかだと思うんですけど、今回持ちられてる方法っていうのは、実績のある方法を考えていいんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:21	日本原燃のオガセでございます結論から言いますと既往の文献等Ge学術論文等での実績のある方法というところになってございます。こちらの方向につきましては今回あくまでデータが得られているところとそこから先のデータが得られていないところの範囲というところの扱い。
1:06:37	お話に着目しての逐次非線形解析だと思っておりますので、この吉田ほかという手法、これが特徴として、この地盤の実験値に対してよく合わせる事が可能だ。ぴたっと合わせる事が可能な非線形特性を設定することができる、そのような特徴を持った非線形モデルでございますのでこちらのほうを使わせていただいたという次第でございます。
1:06:57	規制庁の武田です。ここにありました。では現状の課題にまとめて、それに適した方向という設定を行っているということで理解をしました。
1:07:11	それで、この場合のもと利息とかそういったもので、どういうふうになってるんでしょうか。
1:07:18	はい、日本のオガセでございますこちらの履歴特性のところの戻り即のところにつきましては明示予測AM基づいてやっております、走時側の二倍で帰っていくようなよくある逐次非線形解析であるようなL使うような形でやっております。それあの吉野ほかのところでも、
1:07:35	こちらの論文のほうでも記載されているようなところでございます。
1:07:40	はい、規制庁の武田です。わかりました。もっとその辺の説明は今口頭で説明いただいたので理解できたんですけど、ちょっとその辺をですね、設定の
1:07:52	内容をちょっと追記いただければと思いますので、お願いいたします。
1:07:57	日本原燃はセールスかしこまりました。ええと設定のほうのやり方についてももう少しちょっと詳しく記載させていただきます。
1:08:04	規制庁の武田です。お願いいたしますとそれと37ページの最後にある解析コードを記載されてると思うんですけど、Codeっていうのは使用できてきてあるんでしょうか。
1:08:19	日本原燃のオガセでございますこちらにつきましても既往の学術論文での使用実績のあるコードというふうになってございます。
1:08:27	規制庁のタケダっていうのはここにした選考の実用炉とかそういったものでの使用実績とか、そういった点ではいかがですか、電源のオガセでございます先行の実績という意味でも確認いたしました。がそちらではちょっとこちらのプログラムはないというのが事実のところでございます。
1:08:49	規制庁の武田です。わかりました。とりあえず状況は理解しました。
1:08:54	私から確認以上になります。
1:08:59	規制庁ハバサキです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:02	委員長。
1:09:03	よろしいですか、すみません日本原燃のオガセさん大丈夫ですよろしくお願ひいたします規制庁ハバサキです今タケダからあつた話ですね逐次非線形解析について、もう少し稼ぎ方解析条件について詳しく説明をしてもらいたいと。
1:09:19	いふのとあと、これこの前の液状化の評価のところでも逐次非線形の話が出てくるわけですので、そちらの方ともそちらのほうでもですね逐次の解析条件解析
1:09:35	方法についての記載のほうをもらいたいというふうに思いますフリップについては何かほかの資料だったと思いますけれども、ある程度概要書いてあつたんですね、同じように、逐次非線形解析についてもですね、それぞれ説明をもらいたいというのが1件と、その37ページの一番下の
1:09:52	というエリアについてはこれ解析コードのV&Vのところ資料は提示されるということによろしいんですね。
1:10:00	4行目のオガセでございますおっしゃる通りもちろんでございますかの解析コードの適用性等について妥当性確認した上で固定した提出をさせていただく予定でございます。
1:10:13	提供ハバサキですとかをちょっと追記ちなみに38ページの上の図なんですけれども
1:10:20	原点から出てる青と緑と赤箱重なってる孔直線の
1:10:27	これは何なのかちょっと説明してもらいたいですけど。
1:10:37	日本原燃のオガセでございますが、御申し訳ありませんちょっと
1:10:41	すみません離島理解していないかもしれないですけども、緑と赤の重なっているところのお話でございますでしょうか。
1:10:49	規制庁浜崎です。骨格教育線として、1%以上3色に分けました3について分けました。これは意味はわかるんですけども、原研から青と緑っぽい線が下のほうにありますよね。
1:11:07	この孔と緑君線の意味を教えてください。
1:11:12	日本原燃のオガセでございますこちらの今のこの予算18ページの図の上のところ、今画面に映しているところで、緑職で見えてしまっている1%までの線はこちらの参酌完全に重なっているという条件になってございますが、ここに線につきましては、ひずみ依存特性の線から単純に出したものというところで1%までのデータに基づく
1:11:32	そういった数字というところで全く同じものをケース1から3で使っているものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:37	規制庁浜崎です今提示されている図等を手元にある図間違ってるんですけども、
1:11:48	日本原燃のオガセ市と今画面に映している図とハバサキさんはご覧になっている値が違うということでしょうか。
1:11:58	10月20日付ある9の資料を38ページの私図を見てて、
1:12:05	今提示されてる多分これじゃあ外されてるのかな。今、私はある9うビジョン9-38ページ見てるんですけども、多分修正が入ったから今提示されてるのはですね、
1:12:23	原点から出てる2本の線が書いてませんので、これでしたら、理解します今表示されてる図骨格矯正客船ならば理解します。
1:12:35	理解しました。
1:12:37	多分この38ページのRev9-38ページの上の図が、これ誤記だということで、そういうふう理解了しました。
1:12:52	規制庁カミデです。もしかしたら誤開盤非公開パーツで片方にミスプリがあっただけかもしれないので、一応の確認いただいても問題なければそれでいいんですけどという話だと思ってください。
1:13:08	日本原燃忘れてございますかしこまりました今画面見えているものが正しいものでございますので、ちょっと最終的にお出したPDFと確認させていただきます。
1:13:29	以上のタケダですが、規制庁側から過去にございますでしょうか。
1:13:36	規制庁繋がるですけれども、先ほど下野のほうから、図の
1:13:41	何かの線が重なってわからないというふうにおっしゃった人数が小さいんでわかりづらいなと思ってまして、近隣レバーんだらうと思う。
1:13:54	40
1:13:56	分子の部分で海から辺りは少し
1:14:01	枚数増えてもいいんで、いつもつけていただきたいと思うんですけどもいかがでしょうか。
1:14:06	日本のオガセでございますかしこまりましたちょっと枚数が増えますけれども、ページを開けて、一つ一つの税を見やすくするようにいたします。
1:14:17	規制庁繋がるです一期一応出なくてもですね、PCと一応出なくても2広域とかですね、そのぐらい多分大丈夫だと思うので適任していただければと思います。以上です。日本原燃合わせですかしこまりました。
1:14:33	規制庁ハバサキですけどこれ参考として聞いていただければいいんですけども、ここで言わんとするのはたばこ全景と逐次非線形はケース13変わらな

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>いっていう多分今のを大きくしてもですね、逐次非線形は変わらないんじゃないですかね。</p>
1:14:50	<p>そういう意味では雑木するのもあるんですけども、例えば数字を入れるとかですね数値ですね、土地価格レベルの言うことで、そうすると決着に関してはほとんど破綻や変わらないっていう傾向がわかるんで、</p>
1:15:05	<p>先ほどキシノかなったように矢印で示すのもいいんですけども、ちょっとそこから辺は工夫をしてですね、</p>
1:15:13	<p>違うのか、違わないのかっていうところはっきり説明ができるような形にしてみらえれば結構です。</p>
1:15:20	<p>以上です。</p>
1:15:22	<p>日本原燃のオガセさんのちょっと見せ方について今の趣旨わかりましたのでちょっと工夫してわかりやすくなるような所有線量記載の変えさせていただきます。</p>
1:15:43	<p>その他規制庁側から確認事項等ございますでしょうか。</p>
1:15:51	<p>規制庁カミデです。大体お話はできたことと思うんですけど、ちょっと</p>
1:15:58	<p>今後の話も含めてなんですけど、一応本件また会合で話を聞かなきゃいけないっていうことで、その辺の資料の準備状況だとは思うどういう説明をするとかですかね。あとはその 1.2Ssをまだ</p>
1:16:15	<p>対応中と言ってるんですけど、その次の会合に向けてどういうステータスにあるのか、ちょっとその辺説明いただけますか。</p>
1:16:30	<p>はい、あのにおいて検討してございます今日いただいた事項がございましてこちらのほうを反映した資料といったところを来週中ぐらいに充実していきたいというふうに思っております。</p>
1:16:47	<p>またあわせまして一定につきましても基本的に今解析対応中ございまして、それほど大きくならない時期に解析という見込みになってございますので、</p>
1:17:03	<p>ですので来週の資料の改訂する際におきましてはこの 1.2 の結果といったところの逐次の結果といったところもへの入れる形のほうで資料のほうは提示させていただきたいというふうに思っております。こちらの会合案件という形で考えてございますので、来週 2 の</p>
1:17:22	<p>中ぐらいに今回の補足の説明資料の改訂のほうを出させていただきます、</p>
1:17:31	<p>週末ぐらいですねできればこの事実確認のほうを実施していただいて、その時に合わせてパワーポイント資料の方もですね来週の週末のほうに合わせて作り込んでご提出の方させていただきたいというふうに思っております。</p>
1:17:48	<p>こちらのほうのポンプを踏まえて 11 月の 8 日の週の 9 日ぐらいです火曜日でございますけれども、こちらのほうで PowerPoint 関係の方のヒアリングのほうを</p>

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	実施させていただいて、もう一度ぐらいの改定を踏まえて 1112 ぐらいで、資料の最終提出のほう図っていきたいというふうに考えているところでございます。
1:18:11	規制庁カミデス間異日程に成層そう時間がかからないということで了解をしました。
1:18:18	資料については補足説明を先行してきて、ちょっと遅れるんだけど、会合資料もつくってヒアリングは女人事費にやりたいということの規模としては了解です。
1:18:33	来週水曜日おやすみっていうのもあるので具体的にいつ何を出すかっていうのはありますけど確かに補足だけでも早くもらったほうが、
1:18:47	会合資料は何枚かっていう話だと思いますので、そういう順番で進めていただいているのかと思いますけど具体的な日程について事務局を通して言われており、できればと思いますので、よろしくお願いします。
1:19:04	はい、ちょっと県、
1:19:06	といたしましたスケジュールのほうをさせていただきましてご連絡させたいというふうに思います。
1:19:20	規制庁タケダです。その他、規制庁が行う確認事項ございますでしょうか。
1:19:25	規制庁はがきですいません意見だけ先ほどキシノからありました逐次非線形の解析の適用範囲についてなんですけどこれ文献等でもいいのですね、何らかの見解は記載をしてもらいたいと思うというふうに思いますけどよろしいでしょうか。
1:19:43	日本原燃オガセでございます下の記載の内容はこれから考えますけれどもはいコメントにつきましては拝承いたしました。
1:19:52	はい、規制庁法的にお願いします。
1:19:59	規制庁の武田です。その他、よろしいでしょうか。
1:20:02	ふうん。
1:20:04	それでは、現在のほうから本資料についての修正方針については説明と不開示情報がなかったかの確認をお願いいたします。
1:20:18	日本原燃のオガセでございます。本日いただいたコメントといたしましてはパラメータスタディとして等価線形的なところの手法に基づくところの話とか記載内容のところ考察の拡充逐次非線形のやり方のところの整理の説明、そういったところについて御指摘をいただいているところでございます。そちらの解析考察の最後は入力地震動のところ、
1:20:37	に着目してはどういった現象論でこの地盤に対してどういう特徴があってというところをきちんと入れさせて入れた上で、恒設の深めさせていただきます。こちらにつきましてはこちらに関しては先ほどトガシのほうから申し上げました通

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	り、資料につきましては来週Aのところで提出を目指すというところで進めさせていただきます。
1:20:55	最後に非開示情報の発言については今回ございませんのでご報告させていただきます。以上です。
1:21:03	以上タケダです。ありがとうございます。
1:21:06	それでは本日予定していた議題としては以上となります。
1:21:12	全体を通して規制庁側から何か連絡等ございますでしょうか。
1:21:20	よろしいでしょうか。日本原燃が何かございますでしょうか。
1:21:25	4円で特にございません。
1:21:28	規制庁タケダです。わかりました。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。